

(資料 21)

平成 27 年 2 月 19 日

第 57 回基本計画部会資料

未諮問基幹統計の確認に係る基礎資料

平成27年 2月19日

基幹統計名	木材統計
実施府省・部局名	農林水産省大臣官房統計部生産流通消費統計課

1. 当該基幹統計（基幹統計調査）の概要

統計の目的	素材の生産、木材製品の生産出荷等に関する実態を明らかにし、林業行政の基礎資料を整備することを目的とする。	
作成の方法	専ら統計調査の方法により作成する。	
統計体系の見直し、調査の沿革	昭和 27 年（1952 年）	昭和 26 年（1951 年）以前は、素材の生産量に関する統計は、林家等に対する表式調査を基に作成されていたが、調査精度の向上の観点から、本年から表式調査に加え、製材工場に対する「製材工場基礎調査」を開始。
	昭和 28 年（1953 年）	合単板、電柱材、パルプ材などに調査対象を拡充し、本年 9 月には「製材統計」として指定統計の指定がなされ、これ以降、「製材統計調査」として実施。
	昭和 29 年（1954 年）	製材以外の素材生産量の把握及び木材の需給価格動向等の把握を目的として「木材統計調査」（承認統計調査）を開始し、林業行政の基礎資料の提供に努めてきた。
	昭和 35 年（1960 年）	「製材統計調査」について、標本工場調査の一部（製材用入荷素材記帳簿）を廃止。
	昭和 62～63 年 （1987～1988 年）	「製材統計調査」について、電子計算機を活用した地方分散処理を導入。
	平成 12 年（2000 年）	「製材統計調査」を基礎調査の調査員調査化及び標本工場調査を郵送調査化。
	平成 13 年（2001 年）	「製材統計調査」について、調査票を OCR 化及び基礎調査を標本調査化。
	平成 17 年（2005 年）	「製材統計調査」と「木材統計調査」の再編統合による木材統計に関する調査体系の整備を行い、調査名称を「木材統計調査」に変更。
最終改正以降の見直し検討状況等	平成17年 8 月に行われた木材統計に関する最終答申以降、以下の見直しを行った。 <調査方法関係> 平成19年度から、オンラインを導入した。 1 基礎調査 平成19年調査（平成20年 1 月実施） 2 月別調査（製材月別調査及び合単板月別調査） 平成20年 1 月分～	
調査の根拠法令	統計法（平成19年法律第53号） 木材統計調査規則（平成17年12月28日農林水産省令第124号）	

<p><b>調査の体系等</b></p>	<p>木材統計調査は年次調査である基礎調査と、毎月調査を行う月別調査があり、後者は製材月別調査及び合単板月別調査から構成している。</p> <pre> graph LR     A[木材統計調査] --- B[基礎調査 (年次調査)]     A --- C[月別調査 (毎月調査)]     C --- D[製材月別調査]     C --- E[合単板月別調査] </pre>
<p><b>調査の対象 (報告者数)</b></p>	<p>1 基礎調査 (年次調査) 製材品、木材チップ、単板又は合板を生産している事業所で、調査年の12月31日現在で事業を行っている工場及び休業中であってもその休業期間の開始時期が調査年の10月1日以降の工場を対象とする。 なお、製材品を生産している事業所にあつては、その製材用動力の出力数が7.5kW未満のものは調査の対象から除く (平成25年：4,516工場)。</p> <p>2 月別調査 (毎月調査) (1) 製材月別調査 製材用動力の出力数が7.5kW以上の製材工場を対象とする (平成26年10月分：1,172工場)。 (2) 合単板月別調査 単板又は合板を生産している事業所を対象とする (平成26年10月分：75工場)。</p>
<p><b>抽出方法</b></p>	<p>調査は標本調査 (一部は全数調査) により行った。 ※詳細は別添1参照。</p>
<p><b>有効回収率 (うちオンライン回収率)</b></p>	<p>1 基礎調査 製材に係る調査 調査対象者 3,394工場、有効回収率 89.3%、うちオンライン回収率 1.6% 木材チップに係る調査 調査対象者 977工場、有効回収率 98.2%、うちオンライン回収率 3.4% 合単板に係る調査 調査対象者 145工場、有効回収率 89.7%、うちオンライン回収率 3.6%</p> <p>2 月別調査 (1) 製材月別調査 調査対象者 1,172工場、有効回収率 100.0%、うちオンライン回収率 5.5% (2) 合単板月別調査 調査対象者 75工場、有効回収率 100.0%、うちオンライン回収率12.0%</p> <p>オンライン回収率は1.6%~12.0%に留まっていることから、今後オンライン回答を推進するための改善方法を検討中。</p>

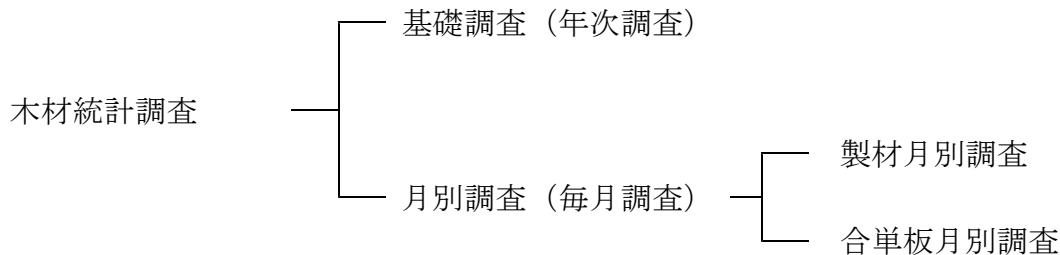
<p><b>調査票・調査事項</b></p>	<p>1 基礎調査（調査票は別添2参照）          製材に用いる動力の出力数、従業者数、素材の入荷量、消費量及び在庫量、製材品の出荷量及び在庫量、木材チップの生産量及び在庫量、合板の生産量及び在庫量</p> <p>2 月別調査          (1) 製材月別調査（調査票は別添3参照）          製材に用いる動力の出力数、素材の入荷量、消費量及び在庫量、製材品の生産量、出荷量及び在庫量          (2) 合単板月別調査（調査票は別添4参照）          素材の入荷量、消費量及び在庫量、合板の入荷量、生産量、出荷量及び在庫量</p>
<p><b>調査の時期</b></p>	<p>1 基礎調査          毎年12月31日現在</p> <p>2 月別調査（製材月別調査及び合単板月別調査）          毎月末日現在</p>
<p><b>調査の系統・方法</b></p>	<p>木材統計調査は、「農林水産省－地方農政局－各都道府県地域センター－統計調査員（基礎調査のみ）－報告者」の系統により実施している。</p> <p>1 基礎調査          オンライン、郵送又は統計調査員が調査対象の代表者に調査票を配布して行う自計報告の方法により実施する。ただし、自計報告の方法により調査を実施できない場合は、統計調査員による調査対象の代表者に対する面接聞き取りの方法により実施する。</p> <p>2 月別調査（製材月別調査及び合単板月別調査）          調査対象の代表者に対して調査票をオンライン又は郵送により配布及び回収する自計報告の方法により実施する。</p>
<p><b>公表状況</b></p>	<p>1 基礎調査          調査年の翌年の4月20日までに第1報を、全国・地域別・都道府県別にHP（e-Stat）で公表している。また、統計表の公表と合わせて「調査の概要」を公表し、ポイント等を分かりやすく提供している。          基礎調査：平成25年木材統計 平成26年4月15日公表</p> <p>2 月別調査（製材月別調査及び合単板月別調査）          調査月の翌月の25日に全国・都道府県別にHP（e-Stat）で公表している。          製材月別調査：製材統計（平成26年11月分） 平成26年12月25日公表          合単板月別調査：合板統計（平成26年11月分） 平成26年12月25日公表</p> <p>なお、基礎調査及び月別調査については、平成26年9月17日に確報をHP（e-Stat）及び11月に報告書で公表している。</p> <p>また、木材統計については、「公的統計の整備に関する基本的な計画（第I期基本計画）」（平成21年3月13日閣議決定）に基づき、経済産業省生産動態統計等用語及びその定義を統一し、各調査共通の集計表様式による結果表を平成26年1月調査分からe-Statに掲載している。</p>

<b>使用している統計基準・定義等の提供</b>	<p>HP (e-Stat) 等に「利用者のために」を掲載し、統計利用上の留意点等を提供している。</p>
<b>推計・集計の方法</b>	<p>1 基礎調査 都道府県別には、製材工場、合単板工場及び木材チップ工場ごとに集計する。 なお、製材工場は森林計画区別（※）に集計する。 また、全国結果は都道府県推定値を積み上げて作成する。</p> <p>2 月別調査 (1) 製材月別調査 都道府県別に、推定式（別添1参照）により集計する。 また、全国結果は都道府県推定値を積み上げて作成する。</p> <p>(2) 合単板月別調査 都道府県別に、推定式（別添1参照）により推定する。 また、全国結果は都道府県推定値を積み上げて作成する。</p> <p>※ 「森林計画区」とは、森林法（昭和26年法律第249号）第7条に基づき、地勢その他の条件を勘案し、主として流域別に定める区域であり、この森林計画区を単位として、都道府県知事が民有林に係る森林関連施策の方向及び森林整備及び保全の目標等を定める「地域森林計画」を策定している。</p>
<b>実績精度（全国）</b>	<p>標準誤差率（標準誤差の推定値÷指標項目の推定値） 基礎調査（平成25年）：1.42%（木材チップ生産量）～8.81%（特殊合板生産量） 月別調査（平成25年1～12月）：0.63～0.83%</p>
<b>利活用事例</b>	<p>1 森林・林業基本法に基づく「森林・林業基本計画」（平成23年7月26日閣議決定）のうち、林産物の供給及び利用の目標の算出資料（別添5）</p> <p>2 「木材需給表」（林野庁）作成のための資料（別添6）</p> <p>3 「木材需給会議開催要領」（平成22年3月9日制定）に基づき、林野庁が四半期毎に開催する「木材需給会議」において協議される木材需給の動向及び木材需給の見通し等の作成資料（別添7）</p> <p>4 農林水産省政策評価における「林産物の供給及び利用の確保」に関する評価指標</p> <p>5 国民経済計算の四半期別GDP速報（QE）における供給側推計の「林業」及び「製材・木製品」の推計</p> <p>6 産業連関表の内生部門における「林業部門」等の推計</p> <p>7 「鋳工業生産指数」（経済産業省）の算出資料</p>
<b>二次利用等の状況</b>	<p>統計法第32条の利用は、平成25年度1件（名簿利用）。第33条の利用は第1号で2件（統計作成）。</p> <p>また、製材月別調査については、オーダーメイド集計にも対応（提供数は平成25年度末までに計3年分）</p>

<p>前回答申時の「今後の課題」の有無・内容</p>	<p>平成 17 年 8 月の統計審議会からの答申（統審議第 8 号）で示された今後の課題は、以下のとおり。</p> <p>① 木材統計調査（承認統計調査）のうち、木材価格統計調査（月次調査）及び木材流通構造調査（5 年周期調査）に関しては、「木材流通統計調査（仮称）」（承認統計調査）として整理し、引き続き実施する計画である。このうち、木材流通構造調査については、報告者負担の軽減及び調査の効率的実施を図る観点から、次回調査において、産業の実態及び利用状況を踏まえた調査計画を策定する必要がある。</p> <p>② なお、木材流通構造調査で把握されている集成材については、今後の生産量等を勘案し、木材統計調査（仮称）の一環として把握することを検討する必要がある。</p> <p>&lt;①の対応状況&gt;</p> <p>木材流通構造調査（5 年周期調査）については平成 13 年調査まで都道府県別に集計を行っていたが、利用部局と協議の上、報告者の負担軽減及び調査の効率的実施を図るため、平成 18 年調査から全国集計のみの調査計画とし、大幅に標本数を削減して実施している。</p> <p>標本数の推移 平成 13 年 → 8,325    18 年 → 3,330    23 年 → 3,101</p> <p>&lt;②の対応状況&gt;</p> <p>基礎調査では素材生産量を把握するため、素材の入荷がある製材工場、木材チップ工場及び合単板工場を調査対象としている。集成材は既に製材されたひき板等を原料として生産することから、素材を入荷しない集成材工場は調査対象としていない。</p> <p>しかしながら、平成 17 年以降、集成材の今後の動きに留意しつつ調査対象の拡大について検討はしてきたところであるが、集成材については、木材流通統計調査のうち木材流通構造調査（5 年周期、直近は平成 23 年調査）において、平成 8 年調査より材料の入荷量、集成材の出荷量等を把握しており、集成材工場の業界団体である「日本集成材工業協同組合」において毎年生産量の把握を行い HP で公表（別添 8）しているため、統計調査としては報告者の負担増となることから、現行の基本調査では集成材の生産量は把握していない。</p> <p>なお、利用部局より集成材を木材統計調査（基礎調査）の中で把握要望があった場合は、検討して参りたい。</p>																		
<p>その他 （長期時系列統計からみた推移等）</p>	<p>長期時系列統計からみた主な指標の推移は、以下のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="363 1693 1370 1939"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">素材入荷量総数</th> <th colspan="2">素材入荷量</th> </tr> <tr> <th>国産材</th> <th>外材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和 48 年（1973 年）</td> <td>93,258 千 m<sup>3</sup></td> <td>-</td> <td>53,176 千 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>平成 17 年（2005 年）</td> <td>29,041</td> <td>16,166 千 m<sup>3</sup></td> <td>12,875</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年（2013 年）</td> <td>26,029</td> <td>19,646</td> <td>6,383</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：昭和 48 年の素材入荷量総量には、パルプ用及びその他用が含まれている。</p>		素材入荷量総数	素材入荷量		国産材	外材	昭和 48 年（1973 年）	93,258 千 m <sup>3</sup>	-	53,176 千 m <sup>3</sup>	平成 17 年（2005 年）	29,041	16,166 千 m <sup>3</sup>	12,875	平成 25 年（2013 年）	26,029	19,646	6,383
	素材入荷量総数			素材入荷量															
		国産材	外材																
昭和 48 年（1973 年）	93,258 千 m <sup>3</sup>	-	53,176 千 m <sup>3</sup>																
平成 17 年（2005 年）	29,041	16,166 千 m <sup>3</sup>	12,875																
平成 25 年（2013 年）	26,029	19,646	6,383																

## 木材統計の調査方法など

## 1. 調査の体系



## 2. 調査の対象

## ①基礎調査（年次調査）

製材品、木材チップ、単板又は合板を生産している事業所で、調査年の12月31日現在で事業を行っている工場及び休業中であってもその休業期間の開始時期が調査年の10月1日以降の工場を対象とした。

なお、製材品を生産している事業所（以下「製材工場」という。）にあっては、その製材用動力の出力数が7.5kW未満のものは調査の対象から除いた。

## ②製材月別調査（毎月調査）

製材用動力の出力数が7.5kW以上の製材工場を対象とした。

## ③合単板月別調査（毎月調査）

単板又は合板を生産している事業所（以下「合単板工場」という。）を対象とした。

## 3. 抽出方法

調査は標本調査（一部は全数調査）により行った。

## ①基礎調査（年次調査）

## (1) 製材工場

都道府県別に、調査年の前年に操業実績があった工場（以下「既存工場」という。）を調査年前年の製材用動力の出力数により、大規模出力階層（製材用動力の出力が75.0kW以上の工場）と小規模出力階層（製材用動力の出力が7.5kW以上75.0kW未満の工場）に区分し、このうち大規模出力階層は全ての工場を調査対象とし、小規模出力階層は出力数の大きい工場から順に3分の1の抽出率により系統抽出の方法で標本を抽出した。

また、調査年に新規に操業を開始又は操業を再開した工場（以下「新設工場」という。）については、新規調査階層として全ての工場を調査対象とした。

## (2) 木材チップ工場

都道府県別、兼営区分別（木材チップ専門工場及び製材又は合単板工場との兼営工場の別）に、既存工場を調査年の前年の木材チップ生産量により、次の(ア)から(ウ)までのとおり規模階層区分を行い、規模階層区分ごとに標本を抽出した。

なお、都道府県別の母集団工場数が3工場以下の場合は、規模階層区分は行わず、全ての工場を調査対象とした。

(ア) 第1階層

既存工場を木材チップ生産量の最も多い工場から順に配列し、その累積生産量はその都道府県の木材チップ生産量の70%を上回るまでの木材チップ工場を第1階層とし、全ての工場を調査対象とした。

(イ) 第2階層

既存工場を木材チップ生産量の最も多い工場から順に配列し、その累積生産量はその都道府県の木材チップ生産量の90%を上回るまでの木材チップ工場から第1階層に属する木材チップ工場を除いた木材チップ工場を第2階層とした。

標本数は下記の計算式により算出し、上記により区分した階層に該当する工場を、木材チップ生産量の多い工場から順に配列した一覧表を用いて、系統抽出により標本を抽出した。

$$\text{調査対象数} = \frac{\text{木材チップ生産量（都道府県計）} \times 0.08}{\text{第2階層の1工場当たりの木材チップ生産量（平均）}}$$

(ウ) 第3階層

既存工場のうち第1階層及び第2階層に属する木材チップ工場以外の木材チップ工場を第3階層とした。

標本数は下記の計算式により算出し、上記により区分した階層に該当する工場を、木材チップ生産量の多い工場から順に配列した一覧表を用いて、系統抽出により標本を抽出した。

$$\text{調査対象数} = \frac{\text{木材チップ生産量（都道府県計）} \times 0.02}{\text{第3階層の1工場当たりの木材チップ生産量（平均）}}$$

(エ) 新規調査階層

新設工場を新規調査階層とし、全ての工場を標本とした。

(3) 合単板工場

都道府県別、工場類型別（単板専門工場、普通合板工場及び特殊合板専門工場の別）に、既存工場を、単板専門工場にあっては調査年前年の単板製造用素材入荷量、普通合板工場にあっては調査年前年の普通合板生産量、特殊合板専門工場にあっては調査年前年の特殊合板生産量により、それぞれ(2)に準じ規模階層区分、標本数の算出及び標本の抽出を行った。

なお、単板専門工場は単板を専門に製造する工場、普通合板工場は普通合板を製造する工場、特殊合板専門工場は特殊合板を専門に製造する工場をいう。

また、都道府県別の母集団工場数が3工場以下の場合は、規模階層区分は行わず、全ての工場を調査対象とした。

## ②製材月別調査（毎月調査）

標本数については、都道府県別に、素材消費量を指標とする標準誤差率（目標精度）を10%として下記計算式により算出した。

標本の抽出は、都道府県別に既存工場を年間素材消費量の多い順に並べ、全数調査階層（年間素材消費量の多い方から順に標本数の3割になるまでの数の工場）と標本調査階層（全数調査階層以外）に区分し、全数調査階層は全ての工場を調査対象とし、標本調査階層からは標本数の7割の工場を系統抽出により標本として抽出した。

また、新規に操業を開始し、又は操業を再開した工場は新規調査階層とし、工場の製材が開始された時点で当該月分の調査を行い、この階層については全てを調査対象とした。

$$n = \frac{n_0}{1 + \frac{n_0}{N}}$$

$$n_0 = \frac{C_x^2 + C_y^2 - 2\rho C_x C_y}{\varepsilon^2}$$

$$C_x = \frac{\sigma_x}{\bar{x}} \quad \rho = \frac{\sigma_{xy}}{\sigma_x \sigma_y}$$

$$C_y = \frac{\sigma_y}{\bar{y}}$$

$n$  : 標本数  
 $N$  : 母集団の大きさ  
 $\varepsilon$  : 目標精度  
 $x$  : 素材消費量の実査値（月別）  
 $y$  : 素材消費量の前年の実査値  
 $\sigma_x$  :  $x$  の標準偏差  
 $\sigma_y$  :  $y$  の標準偏差  
 $\bar{x}$  :  $x$  の平均  
 $\bar{y}$  :  $y$  の平均  
 $\rho$  :  $x$  と  $y$  の相関係数  
 $\sigma_{xy}$  :  $x$  と  $y$  の共分散  
 $C_x$  :  $x$  の変動係数  
 $C_y$  :  $y$  の変動係数

## ③合単板月別調査（毎月調査）

都道府県別に、単板専門工場は単板製造用素材入荷量、普通合板工場は普通合板生産量、特殊合板専門工場は特殊合板生産量の多い方から順に並べ、それぞれ生産量の85%を上回るまでの工場を標本として選定した。

また、新規に操業を開始し、又は操業を再開した工場は新規調査階層とし、工場の合単板の生産が開始された時点で当該月分の調査を行い、この階層については全てを調査対象とした。

## 4. 調査事項

### ①基礎調査

製材に用いる動力の出力数、従業者数、素材の入荷量、消費量及び在庫量、製材品の出荷量及び在庫量、木材チップの生産量及び在庫量、合板の生産量及び在庫量

### ②製材月別調査

製材に用いる動力の出力数、素材の入荷量、消費量及び在庫量、製材品の生産量、出荷量及び在庫量



### ③合単板月別調査

素材の入荷量、消費量及び在庫量、合板の入荷量、生産量、出荷量及び在庫量

## 5. 調査の時期

### ①基礎調査

毎年12月31日現在

### ②製材月別調査及び合単板月別調査

毎月末日現在

## 6. 調査の方法

### ①基礎調査

オンライン、郵送又は統計調査員が調査対象の代表者に調査票を配布して行う自計報告の方法により行った。ただし、自計報告の方法により調査を実施できない場合は、統計調査員による調査対象の代表者に対する面接聞き取りの方法により行った。

### ②製材月別調査及び合単板月別調査

調査対象の代表者に対して調査票をオンライン又は郵送により配布及び回収する自計報告の方法により行った。

## 7. 集計・推計方法

### ①基礎調査

都道府県別は、次の方法により製材工場、合単板工場及び木材チップ工場ごとに集計した。

また、全国結果は都道府県推定値を積み上げて作成した。

#### (1) 製材工場

推定は次の推定式により、都道府県別及び森林計画区別に行った。

$$X = \frac{\sum_{i=1}^n x_i}{\sum_{i=1}^n y_i} \cdot Y + S + P$$

X : x の合計値の推定値

n : 小規模出力階層の標本工場数

x<sub>i</sub> : 小規模出力階層の i 番目の標本工場の x の値

y<sub>i</sub> : 小規模出力階層の i 番目の標本工場の調査年の前年の素材消費量

Y : 小規模出力階層の調査年の前年の素材消費量の合計

S : 大規模出力階層の x の合計値

P : 新規調査階層の x の合計値

森林計画区単位の推定を行った項目については、森林計画区の数値の県計が、県

単位で算出した数値と一致するとは限らないが、製材工場数については、森林計画区の数値の合計と県の数値が一致するように次の式により調整を行った。

森林計画区の推定値（調整後）

$$= \frac{\text{県単位の推定値}}{\text{県内森林計画区の当初の推定値の合計}} \times \text{当該森林計画区の当初の推定値}$$

これ以外の項目については、森林計画区単位に当初算出した結果をそのまま掲載しているので、森林計画区の数値の県計と県の数値が一致するとは限らない。

## (2) 木材チップ工場

推定は、兼営区分ごとに次の推定式により行い、兼営区分別の推定値を合計して全体の推定値とした。

なお、推定式中の「 $y_{ij}$ 」及び「 $Y_i$ 」については、木材チップ用素材に関する項目の推定においては木材チップ用素材の入荷量、木材チップ生産量に関する項目の推定においては木材チップ生産量を用いた。

$$X = \sum_{i=1}^L \frac{\sum_{j=1}^{n_i} X_{ij}}{\sum_{j=1}^{n_i} y_{ij}} \cdot Y_i + S + P$$

X : x の合計値の推定値

L : 標本調査階層（規模階層の第2階層及び第3階層）の数

$n_i$  : 標本調査階層の i 番目の階層の標本工場数

$x_{ij}$  : 標本調査階層の i 番目の階層の j 番目標本工場の x の値

$y_{ij}$  : 標本調査階層の i 番目の階層の j 番目標本工場の調査年の前年の木材チップ用素材の入荷量（木材チップ生産量）

$Y_i$  : 標本調査階層の i 番目の階層の調査年の前年の木材チップ用素材の入荷量（木材チップ生産量）の合計

S : 第1階層の x の合計値

P : 新規調査階層の x の合計値

## (3) 合単板工場

推定は、工場類型別ごとに次の推定式により行い、工場類型別の推定値を合計して全体の推定値とした。

なお、推定式中の「 $y_{ij}$ 」及び「 $Y_i$ 」については、単板製造用素材の入荷量に関す

る項目の推定においては単板製造用素材の入荷量、普通合板生産量に関する項目の推定においては普通合板生産量、特殊合板生産量に関する項目の推定においては特殊合板生産量とした。

$$X = \sum_{i=1}^L \frac{\sum_{j=1}^{n_i} X_{ij}}{\sum_{j=1}^{n_i} y_{ij}} \cdot Y_i + S + P$$

X : x の合計値の推定値

L : 標本調査階層（規模階層の第2階層及び第3階層）の数

$n_i$  : 標本調査階層の i 番目の階層の標本工場数

$x_{ij}$  : 標本調査階層の i 番目の階層の j 番目標本工場の x の値

$y_{ij}$  : 標本調査階層の i 番目の階層の j 番目標本工場の調査年の前年の単板製造用素材の入荷量（普通合板生産量又は特殊合板生産量）

$Y_i$  : 標本調査階層の i 番目の階層の調査年の前年の単板製造用素材の入荷量（普通合板製造量又は特殊合板製造量）の合計

S : 第1階層の x の合計値

P : 新規調査階層の x の合計値

## ②製材月別調査

都道府県別に、次の推定式により集計した。

また、全国結果は都道府県推定値を積み上げて作成した。

$$X = \frac{\sum_{i=1}^n x_i}{\sum_{i=1}^n y_i} \cdot Y + S + P$$

X : x の合計値の推定値

n : 標本調査階層内の標本工場数

$x_i$  : 標本調査階層内の i 番目の標本工場の x の値

$y_i$  : 標本調査階層内の i 番目の標本工場の前年の素材消費量

Y : 標本調査階層の前年の総素材消費量

S : 全数調査階層の x の合計値

P : 新規調査階層の x の合計値（調査値又は推定値）

なお、製材月別調査結果の1月～12月計と木材統計基礎調査結果は必ずしも一致しない。

### ③合単板月別調査

都道府県別に、次の推定式により推定した。

また、全国結果は都道府県推定値を積み上げて作成した。

なお、「 $y_i$ 」及び「 $Y$ 」は、単板製造用素材の入荷量に関する項目の推定においては単板製造用素材の入荷量、普通合板生産量に関する項目の推定においては普通合板生産量、特殊合板生産量に関する項目の推定においては特殊合板生産量とした。

$$X = \frac{\sum_{i=1}^n x_i}{\sum_{i=1}^n y_i} \cdot Y + P$$

$X$  :  $x$  の合計の推定値

$n$  : 標本工場数

$x_i$  :  $i$  番目の標本工場の  $x$  の値

$y_i$  :  $i$  番目の標本工場の前年の単板製造用素材の入荷量（普通合板生産量又は特殊合板生産量）

$Y$  : 既存工場階層の前年の単板製造用素材の入荷量（普通合板製造量又は特殊合板製造量）の合計

$P$  : 調査年の途中で新たに操業した合単板工場の当該項目の合計値（調査値又は推定値）

なお、合単板月別調査結果の1月～12月計と木材統計基礎調査結果は必ずしも一致しない。

統計法に基づく基幹統計  
木 材 統 計



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

# 平成 年木材統計調査基礎調査票

平成 年12月31日現在調査

この調査は、平成 年12月31日現在で操業している工場及び休業中であってもその休業期間が12月31日からさかのぼって3か月未満の工場は対象とします。  
また、記入していただく内容は、すべて過去1年間（ 年1月～12月）についてです。

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままをご記入ください。

記入のしかた

- 記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
- 数字で記入する欄は、下記の例のように、枠からはみださないように、右詰めを書いてください。

記 入 例	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

整理番号	調査年	都道府県番号	地域センター等番号	市区町番号	工場番号	集計区分	兼営区分	工場類型
:	:	:	:	:	:	:	:	:

工場名			
工場所在地	〒		
代表者氏名			本票について対応できる方
電話番号	-	-	わからない事があった場合、問い合わせに利用させていただきます。

この調査に関する連絡先	
調査員氏名	調査員の電話番号
農林水産省 〒	農政局 統計部 地域センター等 担当者名
	電話番号

## I 従業者数及び専兼業状況について

製材工場部門、木材チップ工場部門、合単板工場部門それぞれの木材生産に係る従業者数について記入してください。

工場区分	合計	うち男		うち女	
		人数	人数	人数	人数
製材部門従業者数	:	:	:	:	:
チップ製造部門従業者数	:	:	:	:	:
合単板製造部門従業者数	:	:	:	:	:

(注) 12月末日現在の作業員及び職員  
の人数を記入してください。  
(臨時雇用も含めます。)

(注) 兼営工場の従事者で、複数の部門に  
従事している場合は、その従事する業務の  
主たる部門に記入してください。

(注) 会社の役員等であって、事務職員を兼ねて一定の事務に従事し、一般職員と同じ給与規則によって給与を受けている者は、主たる部門の従業者に含まれません。

## II 素材入荷量について

(平成 年1月1日～12月末日の1年間について記入して下さい。)

### 1 素材入荷量

単位: m<sup>3</sup>

	素材入荷量 ①										転売したもの、貸びき(貸加工)に出したものを ②										手持ち材素材入荷量 ①-② (A)									
	合計	:																												
製材用	:																													
チップ用	:																													
単板用	:																													

### 2 素材消費量

単位: m<sup>3</sup>

	合計										手持ち材消費量										貸びき(貸加工)材消費量 (B)									
		:																												
	:																													
	:																													
	:																													

(注) 素材入荷量には、製品を製造するために工場工場に入った素材(輸入木材含む)の量を記入してください。

(注) 再製材したものを除きます。

### 3 材種別素材入荷量

単位: m<sup>3</sup>

	合計 (A+B)										国産材計										外材計									
	合計	:																												
製材用	:																													
チップ用	:																													
単板用	:																													

### 4 素材在庫量

単位: m<sup>3</sup>

	年初在庫量										年末在庫量									
		:																		
	:																			
	:																			
	:																			

単板外材のうち針葉樹

### 5 樹種別、生産都道府県別素材入荷量

国産材	樹種別計	生産都道府県別																																														
あかまつ くろまつ	製材用	:																																														
	木材チップ製造用	:																																														
	単板製造用	:																																														
すぎ	製材用	:																																														
	木材チップ製造用	:																																														
	単板製造用	:																																														
ひのき	製材用	:																																														
	木材チップ製造用	:																																														
	単板製造用	:																																														
からまつ	製材用	:																																														
	木材チップ製造用	:																																														
	単板製造用	:																																														
えぞまつ とどまつ	製材用	:																																														
	木材チップ製造用	:																																														
	単板製造用	:																																														
その他 針葉樹	製材用	:																																														
	木材チップ製造用	:																																														
	単板製造用	:																																														
広葉樹	製材用	:																																														
	木材チップ製造用	:																																														
	単板製造用	:																																														

6 外材地域別素材入荷量

単位: m<sup>3</sup>

外材	南洋材	うちラワン材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
製材用						
うち半製品						
チップ用						
単板製造用						

Ⅲ 製材工場について(製材を行っている工場(兼業含む))

(平成 年1月1日～12月末日の1年間について記入して下さい。)

1 製材用動力数

製材用動力数

●	●	●	●	●	●	●	●
---	---	---	---	---	---	---	---

 . 

●	●	●	●	●	●
---	---	---	---	---	---

 kW

(注) 製材用動力とは、製材機用だけでなく、製材に関係ある動力はすべて含みます。

2 製材品の用途別出荷量

単位: m<sup>3</sup>

区分	合計	うち集成材		建築用材計	板類
		構造用	その他		
合計					
国産材					
うち人工乾燥材					
外材計					
うち人工乾燥材					
南洋材					
米材					
北洋材					
ニュージーランド材					
その他					

区分	建築用材計(つづき)		土木建設用材	木箱仕組板梱包用材	家具建具用材	その他用材
	ひき割類	ひき角類				
合計						
国産材						
うち人工乾燥材						
外材計						
うち人工乾燥材						
南洋材						
米材						
北洋材						
ニュージーランド材						
その他						

(注) 合計のうち集成材は、建築用材、土木建設用材、家具建具用材、その他に含まれる集成材製造に向けられる製材品の合計を記入してください。

3 製材品の自県・他県別出荷量

単位: m<sup>3</sup>

合計	自県に出荷	他県に出荷
●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●

4 製材品の在庫量

単位: m<sup>3</sup>

年初在庫量	年末在庫量
●●●●●●●●	●●●●●●●●

IV 木材チップ工場について(木材チップを生産している工場(兼業含む))

(平成 年1月1日～12月末日の1年間について記入して下さい。)

1 木材チップの入手区分別生産量

【注】入手区分別木材チップ生産量は、絶乾重量(t単位)により記入してください。

単位:t

区 分	合 計	素材(原木)	工場残材		林地残材	解体材・廃材
			自己の工場から振り向けたもの	他の工場から購入したもの		
合 計						
針 葉 樹						
広 葉 樹						

2 木材チップの在庫量

単位:t

年 初	年 末

V 合単板工場について(合板を生産している工場(兼業含む))

(平成 年1月1日～12月末日の1年間について記入して下さい。)

1 普通合板の生産量(普通合板を生産している工場)

【注】自工場のみを記入し、自社他工場分などは入れないでください。また、うち針葉樹には、全針葉樹合板のみを記入し、複合合板は除いてください。

単位:m<sup>3</sup>

区 分	合 計	3mm未満	3～6mm未満	6～12mm未満	12mm以上
ベニヤ コア ー 合 板	計				
	うち針葉樹				
	1 類				
	2 類				
特殊コア合板					

2 普通合板の在庫量

単位:m<sup>3</sup>

年 初	年 末

3 特殊合板の生産量(特殊合板を生産している工場)

【注】自工場のみを記入し、自社他工場分などは入れないでください。

単位:m<sup>3</sup>

合 計	オーバーレイ合板	プリント合板 (ラミネートを含む)	塗装合板

【注】「オーバーレイ合板」には、ポリエステル化粧合板、塩化ビニル化粧合板、ジアリルフタレート化粧合板を合わせて記入してください。

天然木化粧合板	その他の合板	うち木質複合床板

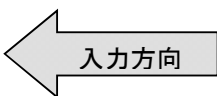
【注】「プリント合板」及び「天然木化粧合板」には、天井用の合板をのぞいて記入してください。

4 特殊合板の在庫量

単位:m<sup>3</sup>

年 初	年 末

【注】「その他の合板」には、天井用合板(印板、張天)、床用合板及び他に分類されないものを含めて記入してください。



4 5 7 1





この調査は、農林水産省で実施している木材統計調査の一環として行うものであり、木材生産についての実態を把握して林業行政の基礎資料を作成することを目的としています。  
この調査で得られる調査結果を外に漏らしたり課税等の資料に用いることは、法律で固く禁止されており、他に漏らすことはありませんので、是非ありのままをご記入願います。

担当者名	
担当者の電話番号	

・記入には濃い黒い鉛筆を使用して下さい。  
・間違いは消しゴムできれいに消して下さい。

記入例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(この欄は農林水産省で記入します)

調 査 年	調 査 月	都道府県 番 号	地 域 センター等 番 号	工 場 番 号	階 層 等 番 号					
					全 数	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	新 再 開 業	休 業
.	.	.	.	.	①	②	③	④	⑤	⑥

月初手持ち  
製材用素材在庫量 → 0 1 . . . . . 単位：m<sup>3</sup>

月初手持ち材  
製材品在庫量 → 0 2 . . . . .

1 製材用動力の出力数を記入してください。

注：製材用機械だけでなく、製材に関係のある機械の動力も含めてください。

出力数 → 1 1 . . . . . kW

2 製材用素材の入荷量を記入してください。

注1：①の素材入荷量には、製材するために工場土場に入荷した手持ちの素材（長さ180センチメートル以上のもので、輸入外材については半製品を含みます。）で、そのうち貸びきを依頼された材や製材以外の用途に使うために入荷した素材を除いた数量を記入してください。

2：②の転売したもの・貸びきに出したのものには、前記①の素材入荷量のうち、都合によって素材のまま転売したもの及び他の工場に貸びきを依頼した素材の量を記入してください。なお、大径木を割材（製材品にはしない。）にするだけの貸びきは、貸びきとして扱わないので含めなくてください。

3：手持ち製材用素材の入荷量には、上記①の素材入荷量から②の転売したもの・貸びきに出したものを差し引いて記入してください。

素材入荷量① → 2 1 . . . . . 単位：m<sup>3</sup>

転売したもの・貸  
びきに出したもの② → 2 2 . . . . .

手持ち製材用素材  
入荷量①－② → 2 3 . . . . . A

3 製材用素材の消費量を記入してください。

注：大径木を他の工場で割材にさせたものを、自工場ですらに製材機にかけて製材した場合は、手持ち材消費量としてください。

合 計 → 3 1 . . . . . 単位：m<sup>3</sup>

手持ち材消費量 → 3 2 . . . . .

貸びき材消費量 → 3 3 . . . . . B

4 樹種別に製材用素材の入荷量を記入してください。

注：2の製材用素材入荷量のうち、手持ち製材用素材入荷量Aと、3の製材用素材消費量のうち貸びき材消費量Bとの合計について、国産材・外材別、樹種（種類）別に記入してください。

合計 (A+B) → 4 1 . . . . . 単位：m<sup>3</sup>

国 計 → 4 2 . . . . .

産 針 葉 樹 → 4 3 . . . . .

材 広 葉 樹 → 4 4 . . . . .

外 計 → 4 5 . . . . .

南 洋 材 → 4 6 . . . . .

うち、ラワン材 → 4 7 . . . . .

米 材 → 4 8 . . . . .

北 洋 材 → 4 9 . . . . .

ニュージーランド材 → 5 0 . . . . .

そ の 他 → 5 1 . . . . .

5 製材用素材の月末在庫量を記入してください。

注：月末現在で工場土場に残っている製材用素材のうち、手持ちのものについて記入してください。貸びきを依頼された素材や製材以外の用途に使うために、一時工場土場にある素材は除いてください。

月末在庫量 → 6 1 . . . . . 単位：m<sup>3</sup>

6 製材品について記入してください。

注1：生産量については、手持ちの製材用素材から製材した製材品と、貸びきを依頼されて製材した製材品の両方を加えて記入してください。

2：出荷量には、手持ち材による製材品で、その月に販売したものと自家業務用に消費した製材品の数量に、貸びき材による製材品の生産量を加えて記入してください。

3：在庫量には、月末現在で自工場の製材品在庫量を記入してください。ただし、貸びき材による製材品は除いてください。

生 産 量 → 7 1 . . . . . 単位：m<sup>3</sup>

出 荷 量 → 7 2 . . . . .

月 末 在 庫 量 → 7 3 . . . . .

7 今後2か月における製材用素材の消費見込量を記入してください。

注：貸びき見込量も含めて記入してください。

月 → 8 1 . . . . . 単位：m<sup>3</sup>

月 → 8 2 . . . . .

(備考欄) 主な調査項目の増減理由があれば記入してください。

ご協力ありがとうございました。  
月 日までに下記あてに送付してください。

統計法に基づく基幹統計  
木 材 統 計



統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

平成 年 木材統計調査

合 単 板 月 別 調 査 票

平成 年 月 分

局・地域 センター等名	
工場番号	

この調査は、農林水産省で実施している木材統計調査の一環として行うものであり、木材生産についての実態を把握して林業行政の基礎資料を作成することを目的としています。  
この調査で得られる調査結果を外に漏らしたり課税等の資料に用いることは、法律で固く禁止されており、他に漏らすことはありませんので、是非ありのままをご記入願います。

担当者名	
担当者の 電話番号	

1 単板製造用素材について記入してください。

単位：m<sup>3</sup>

区分	月初在庫量	入荷量	消費量	月末在庫量
合計				
国産材				
外 材				

(注) 素材の販売量は、入荷量から差し引いてください。

2 普通合板について記入して下さい。

単位：m<sup>3</sup>

区 分	月 初 在庫量	入 荷 量	生 産 量					出 荷 量	消費量 (特殊合 板用)	月 末 在 庫 量		
			3mm未満	3～6	6～12	12mm以上	合計			計	普 通 合板用	特 殊 合板用
合計												
ベニヤコア 合 板												
うち、 針葉樹												
特殊コア 合 板												

3 普通合板のうち、次の品目の生産量を記入して下さい。

単位：m<sup>3</sup>

コンクリート 型わく用合板	うち、針葉樹	構造用合板	うち、針葉樹

(注) 各品目は、それぞれ普通合板の内数として記入してください。

4 特殊合板について記入してください。

単位：m<sup>3</sup>

月初在庫量	生産量	出荷量	月末在庫量

- 注：1 入荷量には、購入又は自社他工場から受け入れた量を記入してください。  
2 製造量には、自工場分のみ記入し、自社他工場分等はいれないでください。  
3 出荷量には、出荷先がどこであっても自工場から一旦搬出された普通合板のすべてを記入してください。  
4 月末在庫量には、自工場内の在庫量のみを記入してください。  
5 単位未満は四捨五入して記入してください。  
6 普通合板  
(1) 消費量(特殊合板用)には、自工場での消費量のみを記入し、自社他工場分はいれないでください。  
(2) 針葉樹には、全針葉樹合板のみを記入し、複合合板は除いてください。

(備考) 主な調査項目の増減理由について記入してください。

御協力ありがとうございました。 月 日  
までに下記あてに送付してください。

## 森林・林業基本計画（平成23年7月26日閣議決定）（抄）

## 第2 森林の有する多面的機能の発揮並びに林産物の供給及び利用に関する目標

## (3) 林産物の供給及び利用に関する目標

第2表 木材供給量の目標

(単位：百万m<sup>3</sup>)

	(実績) 平成21年	(目標) 平成27年	(目標) 平成32年	(参考) 平成42年
木材供給量	1.8	2.8	3.9	5.0

第3表 用途別の利用量の目標

(単位：百万m<sup>3</sup>)

	利用量			総需要量		
	(実績) 平成21年	(目標) 平成27年	(目標) 平成32年	(実績) 平成21年	(見通し) 平成27年	(見通し) 平成32年
製材用材	1.1	1.4	1.9	2.6	2.7	3.0
パルプ・チップ用材	5	9	1.5	2.9	3.6	3.7
合板用材	2	4	5	8	8	9
その他	1	1	1	2	2	2
合計	1.8	2.8	3.9	6.5	7.2	7.8

注1：用途別の利用量は、百万m<sup>3</sup>単位で四捨五入している。注2：パルプ・チップ用材は、主に製紙用に利用されてきたが、平成32年の利用量の目標のうち、6百万m<sup>3</sup>はパーティクルボード等木質系材料としての利用や木質バイオマス発電等エネルギー源としての利用を見込んでいる。

注3：「その他」とは、しいたけ原木、薪炭用材等である。

平成 25 年  
木 材 需 給 表  
(用 材 部 門)

平成 26 年 6 月  
林 野 庁 企 画 課

# 目 次

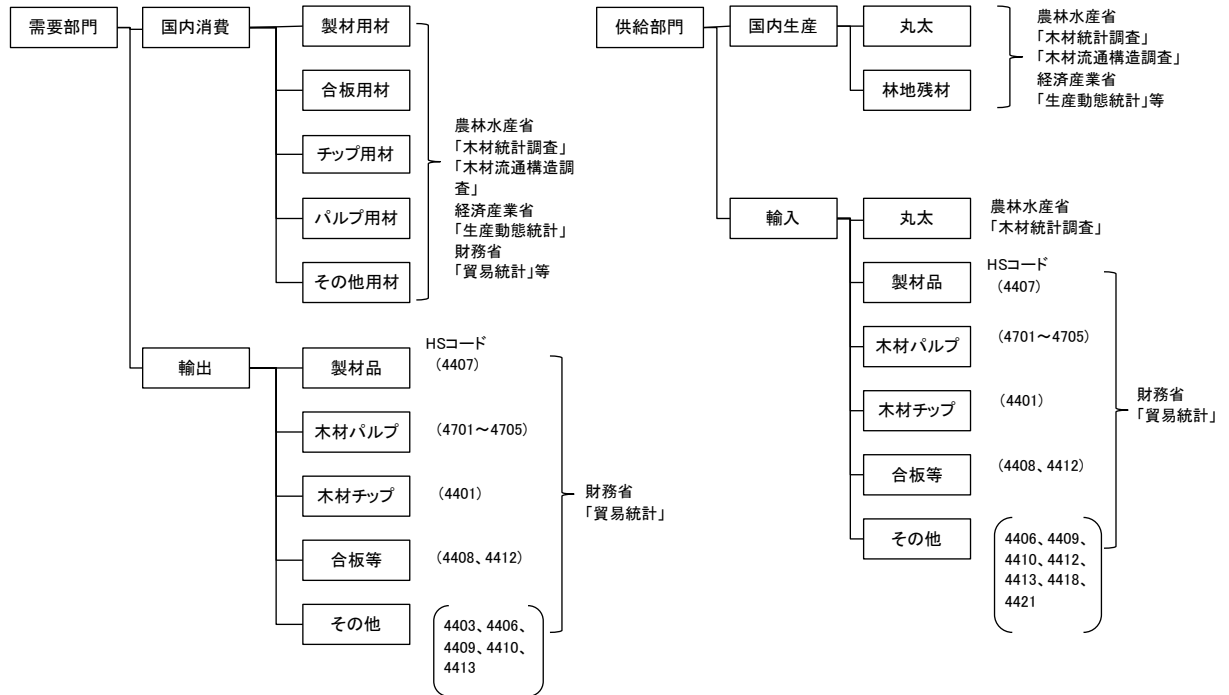
I	解 説	1
1	木材需給表（用材部門）の作成方法	1
	（1）区分及び使用統計	1
	（2）丸太換算率	1
2	木材需給の概要（用材部門）	2
	（1）用材需要	2
	（2）用材供給	3
	（3）木材（用材）自給率	4
II	平成25年木材需給表	5
III	参 考 資 料	6
	参考1 木材需給の推移	7
	参考2 木材（用材）の需要量（用途別）の推移	8
	参考3 木材（用材）の供給量（形態別）の推移	9
	参考4 丸太換算率を適用している木材製品の概要	10

# I 解 説

## 1 木材需給表（用材部門）の作成方法

### (1) 区分及び使用統計

本表は、平成 25 年（1～12 月）における木材需給のうち、用材（製材品や合板、パルプ・チップ等に用いられる木材）についての状況を明らかにするため、林野庁において、以下の区分により関係統計を用いて作成した。



注：( )書きのHSコードとは、HS条約(商品の名称及び分類についての統一システムに関する国際条約)の品目表に基づく貿易統計上の分類番号である。

### (2) 丸太換算率

本表における木材需要・供給量は丸太換算材積であり、丸太以外の形態で輸入又は輸出されたものについては、以下の換算率を用いて丸太材積に換算した。

木材製品名		単位	丸太換算率	木材製品名		単位	丸太換算率	
製材品	針葉樹	m <sup>3</sup>	63.7%	その他木材製品	改良木材	m <sup>3</sup>	100.0%	
	広葉樹	m <sup>3</sup>	54.8%		再生木材	m <sup>3</sup>	100.0%	
木材パルプ	t	1 t = 3.3 m <sup>3</sup>	集成材		m <sup>3</sup>	60.0%		
木材チップ	針葉樹	t	1 t = 2.2 m <sup>3</sup>		構造用集成材	m <sup>3</sup>	60.0%	
	広葉樹	t	1 t = 1.7 m <sup>3</sup>		セルラーウッド <sup>※</sup> ハネル	m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup> = 7.92 m <sup>3</sup>	
合板等	合板	m <sup>3</sup>	61.8%		加工材	針葉樹	m <sup>3</sup>	60.0%
	薄板・単板	m <sup>3</sup>	61.8%			広葉樹	m <sup>3</sup>	50.0%
	ブロックボード <sup>※</sup> 等	m <sup>3</sup>	40.9%		枕木	m <sup>3</sup>	50.0%	
					薪炭材	木炭	t	1 t = 7.407 m <sup>3</sup>
						薪等	t	1 t = 1.282 m <sup>3</sup>

## 2 木材需給の概要（用材部門）

### （1）用材需要

平成25年の木材（用材）の総需要量は7,386万7千 $\text{m}^3$ で、前年に比べて323万4千 $\text{m}^3$ （対前年増減率（以下同じ。）4.6%）増加した。

この内訳をみると、製材用材が253万9千 $\text{m}^3$ （9.7%）、合板用材が93万8千 $\text{m}^3$ （9.1%）の増加となり、パルプ・チップ用材が65万7千 $\text{m}^3$ （ $\Delta$ 2.1%）の減少となった。

また、輸出量は190万1千 $\text{m}^3$ で、前年に比べて49万5千 $\text{m}^3$ （35.2%）増加した。

### 木 材 需 要 の 動 向 （用材部門）

区 分	平成25年		平成24年		対前年 増減量 (千 $\text{m}^3$ )	対前年 増減率 (%)	
	数量 (千 $\text{m}^3$ )	構成比 (%)	数量 (千 $\text{m}^3$ )	構成比 (%)			
総 需 要 量	計	73,867	100.0	70,633	100.0	3,234	4.6
	製材用材	28,592	38.7	26,053	36.9	2,539	9.7
	パルプ・チップ用材	30,353	41.1	31,010	43.9	$\Delta$ 657	$\Delta$ 2.1
	合板用材	11,232	15.2	10,294	14.6	938	9.1
	その他用材	3,690	5.0	3,275	4.6	415	12.7
国 内 消 費	計	71,966	100.0	69,226	100.0	2,740	4.0
	製材用材	28,497	39.6	25,960	37.5	2,537	9.8
	パルプ・チップ用材	28,860	40.1	29,851	43.1	$\Delta$ 991	$\Delta$ 3.3
	合板用材	11,191	15.6	10,262	14.8	929	9.1
	その他用材	3,418	4.7	3,153	4.6	265	8.4
輸 出	用 材	1,901	100.0	1,406	100.0	495	35.2
	うち丸太	273	14.4	122	8.7	151	123.8

注：1）合板用材には、薄板、単板、ブロックボードに加工された木材及びLVL（単板積層材）を含む。

2）その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。

3）輸出の丸太には加工材、再生木材等を含む。

4）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

## (2) 用材供給

### (ア) 国内生産

平成25年における用材の国内生産量は2,111万7千 $\text{m}^3$ で、前年に比べて143万1千 $\text{m}^3$ (7.3%)増加した。

この内訳をみると、丸太は2,081万8千 $\text{m}^3$ で153万4千 $\text{m}^3$ (8.0%)の増加、林地残材は29万9千 $\text{m}^3$ で10万3千 $\text{m}^3$ ( $\Delta$ 25.6%)の減少となった。

用材の用途別では、製材用材が73万7千 $\text{m}^3$ (6.5%)、合板用材が65万3千 $\text{m}^3$ (25.1%)、その他用材が17万3千 $\text{m}^3$ (38.1%)、それぞれ増加し、パルプ・チップ用材が13万2千 $\text{m}^3$ ( $\Delta$ 2.5%)減少した(4ページ「木材自給率の動向(用材部門)」を参照)。

### (イ) 輸 入

平成25年における用材輸入量は5,275万 $\text{m}^3$ で、前年に比べて180万3千 $\text{m}^3$ (3.5%)増加した。

この内訳をみると、丸太の輸入量が33万6千 $\text{m}^3$ (6.0%)、木材製品の輸入量が146万8千 $\text{m}^3$ (3.2%)増加した。

輸入木材製品を品目別にみると、製材品が146万4千 $\text{m}^3$ (14.1%)、合板等が27万7千 $\text{m}^3$ (4.3%)、その他木材製品が24万2千 $\text{m}^3$ (8.6%)、それぞれ増加し、木材パルプが26万2千 $\text{m}^3$ ( $\Delta$ 4.3%)、木材チップが25万2千 $\text{m}^3$ ( $\Delta$ 1.3%)、それぞれ減少した。

木 材 供 給 の 動 向 (用材部門)

区 分		平成25年		平成24年		対前年 増減量 (千 $\text{m}^3$ )	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千 $\text{m}^3$ )	構成比 (%)	数量 (千 $\text{m}^3$ )	構成比 (%)			
総 供 給 量	計	73,867	100.0	70,633	100.0	3,234	4.6	
	丸 太	26,788	36.3	24,918	35.3	1,870	7.5	
	林 地 残 材	299	0.4	402	0.6	$\Delta$ 103	$\Delta$ 25.6	
	輸入木材製品	46,780	63.3	45,312	64.2	1,468	3.2	
国 内 生 産	計	21,117	100.0	19,686	100.0	1,431	7.3	
	丸 太	20,818	98.6	19,284	98.0	1,534	8.0	
	林 地 残 材	299	1.4	402	2.0	$\Delta$ 103	$\Delta$ 25.6	
輸 入	計	52,750	100.0	50,947	100.0	1,803	3.5	
	丸 太	5,970	11.3	5,634	11.1	336	6.0	
	木 材 製 品	小 計	46,780	88.7	45,312	88.9	1,468	3.2
		製 材 品	11,835	22.4	10,371	20.4	1,464	14.1
		木材パルプ	5,771	10.9	6,033	11.8	$\Delta$ 262	$\Delta$ 4.3
		木材チップ	19,400	36.8	19,652	38.6	$\Delta$ 252	$\Delta$ 1.3
		合 板 等	6,734	12.8	6,457	12.7	277	4.3
		そ の 他	3,040	5.8	2,798	5.5	242	8.6
うち構造用集成材	1,268	2.4	1,123	2.2	145	12.9		

注：1) 林地残材は、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。



### (3) 木材（用材）自給率

平成 25 年における木材（用材）の国内生産量と輸入量はともに前年に比べ増加したが、国内生産量の増加率（対前年で 143 万 1 千 m<sup>3</sup>、7.3%の増加）が輸入量の増加率（同 180 万 3 千 m<sup>3</sup>、3.5%の増加）よりも高く、この結果、平成 25 年の木材(用材)自給率は 28.6%と前年に比べて 0.7 ポイント上昇した。

#### 木 材 自 給 率 の 動 向（用材部門）

区 分		平成 2 5 年	平成 2 4 年	対前年 増減量 (千 m <sup>3</sup> )	対前年 増減率 (%)
		数 量 (千 m <sup>3</sup> )	数 量 (千 m <sup>3</sup> )		
製 材 用 材	国 内 生 産	12,058	11,321	737	6.5
	輸 入	16,534	14,732	1,802	12.2
	総 需 要 量	28,592	26,053	2,539	9.7
	自 給 率	42.2%	43.5%	△ 1.3ポイント	
パ ル プ ・ チ ッ プ 用 材	国 内 生 産	5,177	5,309	△ 132	△ 2.5
	輸 入	25,176	25,702	△ 526	△ 2.0
	総 需 要 量	30,353	31,010	△ 657	△ 2.1
	自 給 率	17.1%	17.1%	0.0ポイント	
合 板 用 材	国 内 生 産	3,255	2,602	653	25.1
	輸 入	7,977	7,692	285	3.7
	総 需 要 量	11,232	10,294	938	9.1
	自 給 率	29.0%	25.3%	3.7ポイント	
そ の 他 用 材	国 内 生 産	627	454	173	38.1
	輸 入	3,063	2,821	242	8.6
	総 需 要 量	3,690	3,275	415	12.7
	自 給 率	17.0%	13.9%	3.1ポイント	
計	国 内 生 産	21,117	19,686	1,431	7.3
	輸 入	52,750	50,947	1,803	3.5
	総 需 要 量	73,867	70,633	3,234	4.6
	自 給 率	28.6%	27.9%	0.7ポイント	

注：1）合板用材には、薄板、単板、ブロックボードに加工された木材及びLVL（単板積層材）を含む。

2）その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。

3）自給率の算出は次式による。

$$\text{自給率} = \text{国内生産量} \div \text{総需要量} \times 100$$

4）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

## Ⅱ 平成25年木材需給表 ( 用材部門 )

(単位:千m)

需 要	給 給				需 要 量				費 用				輸 出			
	計	製材用材	パルプ・チップ用材	合板用材	その他用材	計	製材用材	パルプ・チップ用材	合板用材	その他用材	計	製材品	木材パルプ・チップ	合板等	その他	
総 計	(7,972)	28,592	(7,972)	11,232	3,690	(7,972)	28,497	(7,972)	11,191	3,418	1,901	94	1,493	41	273	
丸	(7,972)	16,757	(7,972)	4,498	650	(7,972)	16,663	(7,972)	4,457	378	1,901	94	1,493	41	273	
林地残材	299		299			299		299								
輸入木材製品	46,780	11,835	25,171	6,734	3,040	46,780	11,835	25,171	6,734	3,040						
計	21,117	12,058	5,177	3,255	627	19,219	11,964	3,684	3,217	355	1,897	94	1,493	38	273	
丸	20,818	12,058	4,878	3,255	627	18,920	11,964	3,385	3,217	355	1,897	94	1,493	38	273	
林地残材	299		299			299		299								
計	52,750	16,534	25,176	7,977	3,063	52,746	16,533	25,176	7,974	3,063	4	0		3	0	
丸	5,970	4,699	5	1,243	23	5,966	4,699	5	1,240	23	4	0		3	0	
小 計	46,780	11,835	25,171	6,734	3,040	46,780	11,835	25,171	6,734	3,040						
製材品	11,835	11,835				11,835	11,835									
木材パルプ	5,771		5,771			5,771		5,771								
木材チップ	19,400		19,400			19,400		19,400								
合板等	6,734			6,734		6,734			6,734							
その他	3,040				3,040	3,040				3,040						

注： 1) 大中角・盤等の輸入半製品については、「輸入」の「製材品」に含めた。  
 2) パルプ・チップ用材の( ) 書は外数であり、工場残材及び解体材・廃材から生産された木材チップである。  
 3) 「林地残材」は、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。  
 4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

### Ⅲ 参 考 資 料

- 参考1 木材需給の推移
- 参考2 木材（用材）の需要量（用途別）の推移
- 参考3 木材（用材）の供給量（形態別）の推移
- 参考4 丸太換算率を適用している木材製品の概要

参考 1

木材需給の推移

(単位:千m<sup>3</sup>)

年次	需					要				供				自給率		
	国内消費		輸出		計	国内生産		輸入		計	輸入		用材	総数		
	用材	薪炭材	小計	用材		薪炭材	用材	薪炭材	小計		用材	薪炭材				
昭和 35	56,547	14,908	69,886	1,781	1,769	12	71,467	56,547	63,762	49,006	14,756	7,705	7,541	164	86.7	89.2
40	76,798	6,267	75,210	1,588	1,587	1	76,798	70,530	56,616	50,375	6,241	20,182	20,155	27	71.4	73.7
45	106,601	2,347	105,498	1,103	1,102	1	106,601	102,679	49,780	46,241	1,965	56,821	56,438	383	45.0	46.7
50	99,303	1,132	98,278	1,025	1,025	0	99,303	96,369	37,113	34,577	734	62,190	61,792	398	35.9	37.4
55	112,211	1,199	111,392	819	818	1	112,211	108,964	36,961	34,557	2,047	75,250	74,407	843	31.7	32.9
60	95,447	571	95,014	433	432	1	95,447	92,901	35,374	33,074	1,974	60,073	59,827	246	35.6	37.1
平成 元	115,988	518	115,839	448	448	1	115,988	113,853	32,577	30,589	1,616	83,411	83,264	147	26.9	28.1
2	113,242	517	113,070	172	171	0	113,242	111,162	31,297	29,369	1,563	81,945	81,793	152	26.4	27.6
3	114,174	548	114,047	127	127	0	114,174	112,203	29,785	28,000	1,423	84,389	84,203	186	25.0	26.1
4	110,545	640	110,467	78	77	0	110,545	108,531	28,911	27,166	1,374	81,634	81,365	269	25.0	26.2
5	110,328	680	110,277	51	51	1	110,328	108,385	27,212	25,599	1,262	83,116	82,786	330	23.6	24.7
6	111,401	711	111,308	93	92	1	111,401	109,504	25,999	24,480	1,186	85,402	85,024	378	22.4	23.3
7	113,698	720	113,411	286	285	1	113,698	111,922	24,303	22,916	1,055	89,395	89,006	389	20.5	21.4
8	114,217	747	113,822	396	394	1	114,217	112,502	23,770	22,489	967	90,447	90,013	434	20.0	20.8
9	111,638	776	111,369	269	268	1	111,638	109,905	22,807	21,568	956	88,831	88,337	494	19.6	20.4
10	93,811	772	93,613	197	196	1	93,811	92,058	20,577	19,333	979	73,234	72,725	509	21.0	21.9
11	99,690	970	99,240	450	449	1	99,690	97,812	19,978	18,764	906	79,712	79,048	664	19.2	20.0
12	101,006	938	100,518	489	487	2	101,006	99,263	19,058	18,022	803	81,948	81,241	707	18.2	18.9
13	92,942	970	92,530	412	405	6	92,942	91,247	17,690	16,759	718	75,252	74,488	764	18.4	19.0
14	89,764	947	89,195	568	531	37	89,764	88,127	16,920	16,077	653	72,844	72,050	794	18.2	18.8
15	88,875	1,009	88,107	768	727	40	88,875	87,191	16,970	16,155	634	71,904	71,036	869	18.5	19.1
16	91,437	1,017	90,653	783	773	11	91,437	89,799	17,333	16,555	610	74,104	73,245	859	18.4	19.0
17	87,423	993	86,662	761	753	8	87,423	85,857	17,899	17,176	565	69,523	68,681	842	20.0	20.5
18	88,306	970	87,423	882	873	10	88,306	86,791	18,300	17,617	535	70,005	69,174	831	20.3	20.7
19	83,879	965	82,988	891	880	11	83,879	82,361	19,313	18,626	542	64,565	63,735	830	22.6	23.0
20	79,518	994	78,706	811	801	11	79,518	77,965	19,424	18,731	548	60,094	59,234	859	24.0	24.4
21	64,799	1,039	64,096	703	696	8	64,799	63,210	18,274	17,587	543	46,525	45,622	902	27.8	28.2
22	71,884	1,091	70,330	1,554	1,546	8	71,884	70,253	18,923	18,236	532	52,961	52,018	943	26.0	26.3
23	74,403	1,144	72,864	1,538	1,526	12	74,403	72,725	20,093	19,367	520	54,310	53,358	951	26.6	27.0
24	72,189	1,106	70,769	1,420	1,406	13	72,189	70,633	20,318	19,686	437	51,870	50,947	924	27.9	28.1
25	-	-	-	-	1,901	-	-	73,867	-	21,117	-	-	52,750	-	28.6	-

注: 1) 薪炭材には、木炭、薪、のこくず、木くず及びベレットを含む。  
 2) 表中に使用した記号のうち、「…」は事実不詳又は調査を欠くもの、「-」は調査中のものを示している。  
 3) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

参考 2

木材（用材）の需要量（用途別）の推移

(単位:千㎡)

年次	総 需 要 量						国 内 消 費						輸 出			
	用 材		材		材		用 材		材		材		材		材	
	計	製材用材	パルプ・チップ用材	合板用材	その他用材	計	製材用材	パルプ・チップ用材	合板用材	その他用材	計	製材品	木材パルプ 木材チップ	合板等	その他	
昭和 35	56,547	37,789	10,189	...	3,178	5,391	54,778	36,886	10,096	...	2,487	5,309	903	93	691	82
40	70,530	47,084	14,335	(4,307)	5,187	3,924	68,943	46,338	14,307	(4,307)	4,436	3,862	746	28	751	62
45	102,679	62,009	24,887	(6,737)	13,059	2,724	101,577	61,617	24,843	(6,737)	12,429	2,688	392	44	630	36
50	96,369	55,341	27,298	(6,448)	11,173	2,557	95,344	55,161	26,718	(6,448)	10,946	2,519	180	580	227	38
55	108,964	56,713	35,868	(7,275)	12,840	3,543	108,146	56,545	35,491	(7,275)	12,593	3,517	168	377	247	26
60	92,901	44,539	32,915	(6,567)	11,217	4,230	92,469	44,478	32,838	(6,567)	10,969	4,184	61	77	248	46
平成 元	113,853	55,481	42,313	(7,327)	14,703	1,356	113,705	55,461	42,280	(7,327)	14,636	1,328	20	33	67	28
2	111,162	53,887	41,344	(7,336)	14,546	1,385	110,991	53,849	41,282	(7,336)	14,502	1,358	38	62	44	27
3	112,203	52,230	44,245	(7,162)	14,216	1,512	112,076	52,213	44,206	(7,162)	14,163	1,494	17	39	53	18
4	108,531	50,551	42,760	(6,752)	13,800	1,420	108,454	50,536	42,743	(6,752)	13,761	1,412	15	17	39	8
5	108,385	51,159	40,894	(6,639)	14,533	1,799	108,334	51,145	40,889	(6,639)	14,510	1,790	14	5	23	9
6	109,504	51,001	42,376	(6,542)	14,099	2,028	109,411	50,988	42,330	(6,542)	14,074	2,019	13	45	25	9
7	111,922	50,384	44,922	(6,280)	14,314	2,302	111,637	50,367	44,685	(6,280)	14,288	2,296	16	237	27	6
8	112,502	49,758	43,822	(6,443)	15,726	3,196	112,109	49,720	43,556	(6,443)	15,668	3,166	39	266	59	30
9	109,905	48,339	43,736	(6,266)	15,252	2,578	109,637	48,327	43,529	(6,266)	15,216	2,566	12	207	36	13
10	92,058	37,161	42,140	(6,299)	11,146	1,611	91,862	37,151	42,001	(6,299)	11,117	1,592	10	138	29	19
11	97,812	41,178	40,956	(6,166)	13,705	1,972	97,364	41,167	40,681	(6,166)	13,673	1,843	11	276	33	129
12	99,263	40,946	42,186	(6,537)	13,825	2,306	98,777	40,934	41,741	(6,537)	13,801	2,301	12	445	25	5
13	91,247	37,087	38,706	(6,319)	13,074	2,379	90,842	37,070	38,364	(6,319)	13,035	2,374	18	343	40	5
14	88,127	34,856	37,607	(7,174)	13,226	2,438	87,596	34,817	37,156	(7,174)	13,190	2,432	39	451	36	6
15	87,191	34,766	36,979	(7,951)	12,810	2,636	86,464	34,742	36,338	(7,951)	12,772	2,611	24	641	38	24
16	89,799	35,041	37,981	(7,682)	13,976	2,802	89,027	35,012	37,294	(7,682)	13,948	2,772	29	686	28	30
17	85,857	32,901	37,608	(7,974)	12,586	2,763	85,104	32,868	36,967	(7,974)	12,553	2,716	33	641	32	47
18	86,791	33,032	36,907	(7,664)	13,720	3,131	85,919	33,004	36,149	(7,664)	13,686	3,080	28	758	34	52
19	82,361	30,455	37,124	(7,402)	11,260	3,522	81,482	30,408	36,372	(7,402)	11,226	3,475	47	752	34	47
20	77,965	27,152	37,856	(6,509)	10,269	2,688	77,164	27,083	37,221	(6,509)	10,244	2,616	69	635	25	72
21	63,210	23,513	29,006	(5,662)	8,163	2,528	62,514	23,444	28,476	(5,662)	8,120	2,474	69	530	42	55
22	70,253	25,379	32,350	(6,192)	9,556	2,968	68,708	25,284	30,999	(6,192)	9,535	2,889	95	1,351	21	79
23	72,725	26,634	32,064	(6,725)	10,563	3,464	71,199	26,540	30,766	(6,725)	10,543	3,351	94	1,298	20	113
24	70,633	26,053	31,010	(6,708)	10,294	3,275	69,226	25,960	29,851	(6,708)	10,262	3,153	93	1,159	32	122
25	73,867	28,592	30,353	(7,972)	11,232	3,690	71,966	28,497	28,860	(7,972)	11,191	3,418	94	1,493	41	273

注: 1)パルプ・チップ用材の( )書は外数であり、工場残材及び廃材・腐材から生産された木材チップである。この材料は製材用、合板用、その他用の丸太材料に含まれている。  
 2)その他用材には平成3年より構造用集成材を含め集計している。  
 3)表中に使用した記号のうち、「...」は事実不詳又は調査を欠くものを示している。  
 4)数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

参考 3

木材（用材）の供給量（形態別）の推移

(単位:千m)

年次	総供給量				国内生産				輸入						
	用材		材		用材		材		用材		材				
	計	丸太	林地残材	輸入木材製品	計	丸太	林地残材	丸太	計	丸太	製材品	木材ハルブ	製材品	木板等	その他
昭和 35	56,547	55,189	491	867	49,006	48,515	491	7,541	6,674	867	211	656	...	...	...
40	70,530	66,255	841	3,434	50,375	49,534	841	20,155	16,721	3,434	1,115	2,036	270	2	11
45	102,679	88,632	890	13,157	46,241	45,351	890	56,438	43,281	13,157	3,957	3,509	5,031	548	112
50	96,369	76,836	422	19,111	34,577	34,155	422	61,792	42,681	19,111	2,984	3,688	11,340	335	784
55	108,964	76,446	506	32,012	34,557	34,051	506	74,407	42,395	32,012	6,136	7,670	15,936	199	2,071
60	92,901	64,335	130	28,436	33,074	32,944	130	59,827	31,391	28,436	4,994	7,892	11,812	613	3,125
平成元	113,853	65,710	71	48,072	30,589	30,518	71	83,284	35,192	48,072	12,882	11,303	19,043	4,312	532
2	111,162	63,163	67	47,932	29,369	29,302	67	81,793	33,861	47,932	12,598	9,721	20,252	4,707	654
3	112,203	60,089	61	52,053	28,000	27,939	61	84,203	32,150	52,053	12,868	9,878	23,462	5,016	829
4	108,531	57,465	51	51,015	27,166	27,115	51	81,385	30,350	51,015	12,424	10,405	22,518	4,899	769
5	108,385	53,286	27	55,072	25,599	25,572	27	82,786	27,714	55,072	14,445	10,972	21,829	6,642	1,184
6	109,504	51,374	21	58,109	24,480	24,459	21	85,024	26,915	58,109	14,610	12,389	23,162	6,488	1,449
7	111,922	48,763	18	63,141	22,916	22,898	18	89,006	25,865	63,141	15,982	11,990	26,411	6,993	1,765
8	112,502	47,601	14	64,887	22,489	22,475	14	90,013	25,126	64,887	16,188	11,248	26,361	8,415	2,675
9	109,905	44,521	13	65,371	21,568	21,555	13	88,337	22,966	65,371	17,119	11,327	26,406	8,422	2,097
10	92,058	37,915	15	54,128	19,333	19,318	15	72,725	18,597	54,128	10,582	10,541	25,721	6,082	1,201
11	97,812	37,526	25	60,261	18,764	18,739	25	79,048	18,787	60,261	15,081	10,144	25,295	8,181	1,560
12	99,263	36,008	32	63,223	18,022	17,990	32	81,241	18,018	63,223	15,913	10,320	26,661	8,424	1,904
13	91,247	32,666	35	58,546	16,759	16,724	35	74,488	15,942	58,546	14,340	8,659	25,104	8,423	2,019
14	88,127	30,847	95	57,185	16,077	15,982	95	72,050	14,865	57,185	13,694	8,101	24,791	8,502	2,097
15	87,191	30,410	143	56,638	16,155	16,012	143	71,036	14,398	56,638	14,088	8,022	24,337	7,897	2,294
16	89,799	30,763	121	58,915	16,555	16,434	121	73,245	14,329	58,915	14,488	8,292	25,112	8,587	2,456
17	85,857	29,152	143	56,562	17,176	17,033	143	68,681	12,119	56,562	13,305	7,649	25,258	7,950	2,401
18	86,791	29,632	137	57,022	17,617	17,480	137	69,174	12,152	57,022	13,484	7,675	24,594	8,537	2,753
19	82,361	28,967	207	53,187	18,626	18,419	207	63,795	10,548	53,187	11,649	6,795	25,569	6,033	3,142
20	77,965	26,145	208	51,612	18,731	18,523	208	59,234	7,622	51,612	10,319	6,526	26,196	6,283	2,287
21	63,210	23,010	219	39,981	17,587	17,388	219	45,622	5,641	39,981	8,799	5,496	18,465	5,056	2,166
22	70,253	24,003	276	45,974	18,236	17,980	276	52,018	6,044	45,974	10,136	5,973	21,562	5,745	2,558
23	72,725	24,767	298	47,661	19,367	19,089	298	53,358	5,698	47,661	10,813	6,202	20,936	6,705	3,004
24	70,633	24,918	402	45,312	19,686	19,284	402	50,947	5,634	45,312	10,371	6,033	19,652	6,457	2,798
25	73,867	26,788	299	46,780	21,117	20,818	299	52,750	5,970	46,780	11,835	5,771	19,400	6,734	3,040

注: 1)「林地残材」は、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

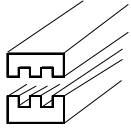
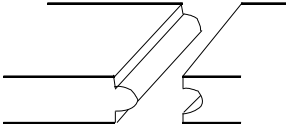
2)「輸入」の「その他」には平成3年より構造用集成材を含めて集計している。

3)表中に使用した記号のうち、「…」は事実不詳又は調査を欠くものを示している。

4)数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

参考 4

丸太換算率を適用している木材製品の概要

木材製品名	形状（製造方法）等	主な用途	
ブロックボード	心材に木材のブロック、パーティクルボード等を並べて膠着し、表面に外装単板を貼った合板に類するもの。	建材、家具、建具	
改良木材	熱硬化性プラスチックを加圧注入する等、化学的又は物理的処理によって木材固有の欠点を改良し、密度又は硬度を増加させることにより、機械的強度、化学的作用に対する抵抗性又は電気抵抗特性を改善した木材。	万年筆等の軸、ドアノブ、ゴルフヘッド、電気用の部品、化学工業用の容器、フローリング（表面材料）	
再生木材	パーティクルボード	丸太又は木くずを機械的に細片化して得られる木材のチップ又は小片を、通常熱硬化性の樹脂を結合剤として混入し、圧縮又は押し出しによって種々の長さ、幅及び厚さに作られたもの。	家具、建具、電気器具、建築用下地材、キャビネット
	オリエンテッド・ストラットボード ウェファーボード	幅の2倍以上の長さを有する薄い木片（ストランド）、あるいは幅の2倍未満の長さの薄い木片（ウェファー）を、何層にも交互に重ね、熱圧成型したもの。堅くて均一な構造用ボード。	屋根、壁下地材等
集成材	ひき板又は小角材等とその繊維方向を互いにほぼ平行にして、長さ、幅及び厚さの方向に集成接着したもの。	建材、家具、建具	
構造用集成材	集成材のうち、主として構造物の耐力部材として用いられるもの。	柱、梁、桁	
セルラーウッドパネル	芯に栈木（小角又は小舞）を平行又は格子状に空間をもって並べ、その表板に木材、パーティクルボード、繊維板、合板等を貼り合わせたもの。 栈木間の空間部に防音材又は耐熱材（コルク、ガラスウール等）を入れたものもある。	テーブルトップ、こたつ板、収納家具、カラーボックス、戸、壁の仕切り	
加工材	溝付け加工、さねはぎ加工、その他これらに類する加工をいずれかの縁又は面に沿って連続的に施した木材。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>(溝付け加工)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(さねはぎ加工)</p>  </div> </div>	床、壁	

注：財務省「関税率表解説」等を参考とした。

平成26年度第2回木材需給会議 配布資料（抄）

主要木材の需給見通し（案）

平成26年9月



# 主要木材の需給見通し

国産材 丸太

- 1 平成26年見通し対象期間は、平成26年第4四半期（10～12月）  
平成27年第1四半期（1～3月）である。
- 2 実績値については以下による。
  - (1) 国産材丸太の実績数値は、製材用については農林水産省「製材統計」に、合板用については農林水産省「合板統計」、「木材需給報告書」及び「木材統計」による。
  - (2) 外材の実績数値は、米材、欧州材及び南洋材の各製材品については財務省「貿易統計」により、それ以外については、外材総合需給連絡会調べによる。
  - (3) 在庫は港頭在庫であり、在庫率は以下の計算式による。  
在庫率＝期末在庫／6ヶ月平均出荷量
  - (4) 外材の供給（輸入）は入港時点、需要（出荷）は港頭からの出荷時点での把握である。なお、米材、欧州材及び南洋材の各製材品については、通関ベースでの把握である。
  - (5) 実績数値は、端数を四捨五入していることから、計算が合わないことがある。

年	四半期	区分	需要(工場入荷)			
			製材用		合板用	
			実数	前年比	実数	前年比
	月		千m <sup>3</sup>	%	千m <sup>3</sup>	%
21年 (2009)	1-3	実績	2,759	96.5	424	77.8
	4-6	"	2,535	90.1	435	69.9
	7-9	"	2,316	90.9	539	110.5
	10-12	"	2,633	91.2	581	120.7
	年計		10,243	92.2	1,979	92.6
22年 (2010)	1-3	実績	2,515	91.2	558	131.5
	4-6	"	2,606	102.8	618	142.0
	7-9	"	2,544	109.8	644	119.4
	10-12	"	2,916	110.8	670	115.5
	年計		10,582	103.3	2,490	125.8
23年 (2011)	1-3	実績	2,779	110.5	605	108.4
	4-6	"	2,775	106.5	637	103.1
	7-9	"	2,777	109.1	621	96.4
	10-12	"	3,161	108.4	661	98.6
	年計		11,492	108.6	2,524	101.4
24年 (2012)	1-3	実績	2,941	105.8	644	106.4
	4-6	"	2,811	101.3	648	101.7
	7-9	"	2,540	91.4	589	94.9
	10-12	"	3,029	95.8	721	109.0
	年計		11,321	98.5	2,602	103.1
25年 (2013)	1-3	実績	2,926	99.5	723	112.2
	4-6	"	3,070	109.2	795	122.8
	7-9	"	2,853	112.3	744	126.2
	10-12	"	3,210	106.0	754	104.6
	年計		12,058	106.5	3,016	115.9
26年 (2014)	1-3	実績	3,178	108.6	713	98.6
	前回		3,000	97.7	840	105.6
	実績		3,162	103.0	831	104.5
	前回		3,300	115.7	830	111.6
	見込み(案)		3,100	108.7	795	106.9
27年 (2015)	前回		3,100	96.6	870	115.4
	見通し(案)		3,100	96.6	830	110.1
	前回		12,578	104.3	3,253	107.8
	年計		12,540	104.0	3,169	105.1
	1-3	見通し(案)	3,000	94.4	800	112.3

注：平成23年までの年計は「木材需給報告書」(但し、平成24年、25年は「木材統計」)の数値、四半期毎の実績は「木材需給報告書」の年計値を製材用は「製材統計」、合板用は平成20年から22年まで及び平成24年、25年は「合板統計」、平成23年は「日本合板工業組合連合会の推計値」による四半期毎の実績の割合で按分した値である。  
製材用の平成26年の実績数値は、平成25年の「製材統計」の年計値に対する「木材統計」の年計値の割合を、平成26年の「製材統計」の実績に乗じた値である。  
合板用の平成26年の実績数値は、平成25年の「合板統計」の年計値に対する「木材統計」の年計値の割合を、平成26年の「合板統計」の実績に乗じた値である。

米 材 ・ 欧州材

年	四半期	区分	米						材						欧州材	
			丸			太			製			品			製	
			供給(輸入) 実数	前年比	需要(出荷) 実数	前年比	実数	期末在庫 率	供給(輸入) 実数	前年比	需要(出荷) 実数	前年比	実数	期末在庫 率	供給(輸入) 実数	前年比
21年 (2009)	1-3	実績	638	120.3	554	99.5	339	1.66	547	81.9	572	82.2	198	0.92	640	181.5
	4-6	"	559	76.7	640	93.8	259	1.30	510	70.3	543	77.3	166	0.89	514	103.2
	7-9	"	641	82.5	631	86.2	269	1.27	565	69.2	578	74.1	152	0.81	456	84.2
	10-12	"	630	104.7	661	98.1	237	1.10	650	90	640	87.8	162	0.80	426	69.1
	年計		2,468	93.5	2,486	94.0			2,272	78	2,333	80.2			2,036	101.3
22年 (2010)	1-3	実績	657	102.9	665	120.1	229	1.04	599	109	600	104.8	161	0.78	459	71.8
	4-6	"	809	144.7	747	116.8	291	1.24	734	144	704	129.8	191	0.88	555	108.0
	7-9	"	803	125.3	717	113.7	377	1.55	701	124	703	121.6	189	0.81	659	144.5
	10-12	"	636	100.9	704	106.4	309	1.30	713	110	730	114.0	173	0.72	608	142.6
	年計		2,905	117.7	2,833	114.0			2,748	121	2,737	117.3			2,281	112.0
23年 (2011)	1-3	実績	717	109.1	735	110.5	291	1.21	610	102	571	95.2	212	0.98	631	137.5
	4-6	"	767	94.8	750	100.4	307	1.24	757	103	738	104.8	231	1.06	665	119.8
	7-9	"	737	91.7	789	110.0	255	1.00	691	99	688	97.9	233	0.98	618	93.8
	10-12	"	858	134.9	855	121.4	258	0.94	727	102	753	103.2	207	0.86	570	93.8
	年計		3,078	106.0	3,129	110.4			2,786	101	2,751	100.5			2,485	108.9
24年 (2012)	1-3	実績	851	118.8	842	114.6	267	0.94	644	105.6	623	109.1	228	1.00	619	98.1
	4-6	"	780	101.8	747	99.5	301	1.14	754	99.6	764	103.5	218	0.94	589	88.5
	7-9	"	647	87.9	700	88.7	249	1.03	578	83.6	595	86.5	200	0.88	644	104.1
	10-12	"	769	89.7	770	90.1	248	1.01	776	106.7	782	103.8	194	0.84	591	103.7
	年計		3,048	99.0	3,059	97.8			2,751	98.8	2,765	100.5			2,443	98.3
25年 (2013)	1-3	実績	817	96.0	880	104.5	185	0.67	636	98.7	626	100.4	204	0.87	702	113.5
	4-6	"	991	126.9	861	115.4	315	1.08	783	103.9	760	99.4	227	0.98	888	150.8
	7-9	"	753	116.4	797	114.0	271	0.98	752	130.3	727	122.1	253	1.02	929	144.4
	10-12	"	859	111.6	861	111.8	269	0.97	696	89.7	726	92.8	223	0.92	682	115.3
	年計		3,420	112.2	3,399	111.1			2,867	104.2	2,837	102.6			3,201	131.1
26年 (2014)	1-3	実績	911	111.5	853	96.9	327	1.15	564	88.7	588	94.0	198	0.91	687	97.9
	前回		750	75.7	770	89.4	307	1.14	700	89.4	660	86.9	238	1.15	720	81.1
	実績		828	83.6	794	92.2	361	1.32	654	83.5	653	85.9	199	0.96	729	82.1
	前回		650	86.3	730	91.5	227	0.91	700	93.0	670	92.2	268	1.21	700	75.3
	見込み(案)		650	86.3	700	87.8	311	1.25	650	86.4	630	86.7	219	1.03	700	75.3
27年 (2015)	10-12	見通し(案)	700	81.5	800	92.9	127	0.50	650	93.4	680	93.7	238	1.06	640	93.8
	前回		700	81.5	760	88.3	251	1.03	670	96.3	660	90.9	229	1.07	610	89.4
	実績		3,011	88.0	3,153	92.7			2,614	91.2	2,598	91.6			2,747	85.8
	前年計		3,090	90.3	3,107	91.4			2,537	88.5	2,531	89.2			2,726	85.2
	1-3	見通し(案)	800	87.8	750	87.9	301	1.20	670	118.8	650	110.5	249	1.14	600	87.3

注：欧州材については、広葉樹を含まない。

年	四半期	区分	丸太										製材					
			供給(入)		需用		要板用		合計		期末在庫		供給(入)		需用(出)		期末在庫	
			実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
21年 (2009)	1-3	実績	109	55.6	21	67.7	109	52.6	130	54.5	199	3.90	146	100.0	146	95.3	107	2.18
	4-6	"	67	42.1	17	64.3	93	48.4	110	50.3	155	3.87	135	79.0	125	72.5	117	2.60
	7-9	"	96	54.3	15	61.2	110	67.7	125	66.8	126	3.21	131	78.7	141	83.3	107	2.42
	10-12	"	152	76.9	15	57.3	120	80.9	136	77.3	142	3.26	125	78.2	133	88.5	99	2.17
	年計		423	58.1	68	62.8	433	60.8	501	61.1			537	83.5	545	84.5		
22年 (2010)	1-3	実績	97	89.3	19	89.9	117	106.7	135	104.0	104	2.30	126	86.5	134	92.2	91	2.05
	4-6	"	160	240.7	28	167.7	115	123.2	143	130.0	121	2.60	155	114.7	146	116.8	100	2.15
	7-9	"	144	150.3	23	150.5	120	109.8	144	114.9	121	2.53	157	119.3	150	106.6	106	2.16
	10-12	"	155	102.0	22	144.0	115	95.7	137	101.2	138	2.95	149	118.8	149	112.1	106	2.12
	年計		556	131.5	92	135.0	467	108.0	560	111.7			586	109.1	580	106.5		
23年 (2011)	1-3	実績	106	109.3	25	136.2	122	104.5	147	108.8	97	2.05	150	118.8	156	116.1	100	1.97
	4-6	"	139	86.6	25	87.4	99	86.2	124	86.5	112	2.48	177	114.7	174	119.5	103	1.87
	7-9	"	166	115.9	29	123.2	88	72.8	116	80.9	162	4.06	162	103.4	157	104.3	108	1.96
	10-12	"	99	64.1	28	126.7	94	81.3	122	88.6	140	3.53	151	101.6	148	99.4	111	2.18
	年計		511	91.9	107	115.7	402	86.1	509	91.0			640	109.2	635	109.6		
24年 (2012)	1-3	実績	100	93.8	28	109.4	86	70.3	113	77.0	126	3.23	140	93.0	141	90.8	109	2.25
	4-6	"	70	50.3	15	59.8	70	70.0	84	68.0	112	3.40	153	86.5	152	87.4	110	2.24
	7-9	"	84	50.3	19	67.5	70	79.8	89	76.7	106	3.68	141	87.1	138	88.0	113	2.33
	10-12	"	80	80.1	14	51.0	75	79.7	89	73.1	97	3.27	149	98.7	145	97.7	117	2.48
	年計		333	65.1	76	71.2	300	74.5	376	73.8			583	91.0	577	90.8		
25年 (2013)	1-3	実績	55	54.9	27	98.2	51	59.5	78	69.0	74	2.64	137	98.0	143	101.3	110	2.30
	4-6	"	67	95.5	19	126.1	53	76.2	72	84.9	69	2.75	155	101.3	153	100.2	113	2.29
	7-9	"	76	90.4	24	121.9	47	67.0	70	78.9	74	3.12	151	107.3	155	112.4	109	2.13
	10-12	"	95	119.7	20	142.5	64	85.8	85	95.0	85	3.28	146	98.1	137	94.8	118	2.42
	年計		292	87.8	90	118.0	215	71.7	305	81.1			590	101.1	588	102.0		
26年 (2014)	1-3	実績	60	110.2	17	64.3	48	94.3	66	83.9	79	3.17	148	108.3	152	106.2	114	2.36
	前回		70	105.0	15	80.5	57	107.7	72	100.6	77	3.37	150	96.5	135	88.4	129	2.70
	4-6	実績	75	111.9	21	111.1	54	102.3	75	104.6	79	3.37	156	100.4	142	93.2	128	2.60
	前回		60	79.4	14	59.4	41	87.7	55	78.2	82	3.89	145	95.8	132	85.1	142	3.19
	7-9	見込み(案)	60	79.4	15	63.6	54	114.5	69	97.4	71	2.95	145	95.8	140	90.3	133	2.82
27年 (2015)	前回		80	83.9	13	63.5	56	87.4	69	81.6	93	4.52	145	99.2	132	96.1	155	3.52
	10-12	見通し(案)	70	73.4	15	73.2	49	75.7	64	75.1	77	3.50	140	95.8	132	96.1	141	3.11
	前回		270	92.5	59	66.2	202	94.1	262	85.9			588	99.7	551	91.7		
	年計		265	90.6	68	75.9	204	95.1	272	89.5			589	99.9	566	96.3		
	1-3	見通し(案)	60	99.6	14	80.3	23	47.8	37	56.4	100	5.97	140	94.6	132	86.8	149	3.38

注：製材品については、平成20年から、関税分類上「製材(4407)」の「その他の木製品(4421)」の中に木製パネルの一部(フリー板)の数値が示されることとなったため、その数値を加えている。そのため、前年比は記入していない。

年	四半期	区分	丸				太				製材品	
			供給(輸入)		需要(出荷)		期末在庫		供給(輸入)		実数	前年比
			実数	前年比	実数	前年比	実数	率	実数	前年比		
21年 (2009)	1-3	実績	157	33.3	250	39.4	247	2.30	207	149.7		
	4-6	"	164	27.9	226	40.4	185	2.33	192	96.0		
	7-9	"	190	49.4	226	48.1	148	1.96	132	79.3		
	10-12	"	119	32.7	157	39.6	110	1.72	148	91.3		
	年計		629	34.9	860	41.7			679	101.8		
22年 (2010)	1-3	実績	111	70.7	139	55.6	81	1.65	160	77.5		
	4-6	"	134	81.5	130	57.5	85	1.89	192	100.3		
	7-9	"	113	59.8	118	51.9	81	1.96	136	102.9		
	10-12	"	73	61.3	107	68.6	46	1.23	146	99.0		
	年計		430	68.4	494	57.5			635	93.6		
23年 (2011)	1-3	実績	128	115.5	96	69.2	78	2.29	208	129.6		
	4-6	"	100	75.2	98	75.0	81	2.49	191	99.4		
	7-9	"	48	42.2	61	51.8	68	2.56	150	110.1		
	10-12	"	54	73.8	79	73.4	42	1.82	135	91.9		
	年計		330	76.7	334	67.5			683	107.6		
24年 (2012)	1-3	実績	85	66.5	72	74.9	55	2.20	188	90.5		
	4-6	"	101	100.8	87	89.5	69	2.61	156	81.4		
	7-9	"	30	62.2	51	83.3	48	2.10	127	85.0		
	10-12	"	36	66.7	59	74.3	26	1.40	144	107.2		
	年計		252	76.4	269	80.6			615	90.0		
25年 (2013)	1-3	実績	70	82.2	62	85.5	34	1.69	181	96.3		
	4-6	"	67	66.3	55	63.5	45	2.33	216	138.6		
	7-9	"	39	130.1	52	103.3	32	1.77	187	146.9		
	10-12	"	38	107.0	39	66.1	31	2.07	167	116.0		
	年計		214	85.0	208	77.5			751	122.1		
26年 (2014)	1-3	実績	59	84.7	52	84.8	38	2.53	189	104.2		
	前回		70	104.4	70	126.2	38	1.88	200	92.8		
	実績		84	125.5	82	148.6	40	1.79	175	81.2		
	前回		55	142.0	50	95.5	43	2.17	130	69.6		
	見通し(案)		40	103.3	50	95.5	30	1.36	140	74.9		
	前回		50	130.3	50	129.0	43	2.60	150	89.6		
	見通し(案)		25	65.1	50	129.0	5	0.31	140	83.6		
	前回		234	109.4	222	106.7			669	89.1		
	年計		208	97.3	235	112.7			644	85.8		
27年 (2015)	1-3	見通し(案)	70	118.2	50	95.6	25	1.51	180	95.2		

注：広葉樹は含まない。

年	四半期	区分	丸				太				製材				品	
			供給(輸入)		需要(出荷)		供給(輸入)		需要(出荷)		供給(輸入)		需要(出荷)		期末在庫	在庫率
			実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	率
20年 (2008)	1-3	実績	198	88.0	172	102.5	130	2.04	131	92.8	120	95.3	81	2.05		
	4-6	"	225	109.8	261	117.6	95	1.31	88	84.4	102	82.4	67	1.79		
	7-9	"	227	126.5	193	103.3	129	1.71	134	127.1	115	113.1	86	2.38		
	10-12	"	219	110.0	194	92.8	154	2.40	106	95.0	109	93.6	83	2.24		
	年計		869	107.5	819	104.4			459	99.3	446	95.3				
21年 (2009)	1-3	実績	198	100.4	180	104.5	173	2.77	72	55.0	76	63.0	79	2.58		
	4-6	"	93	41.3	139	53.2	127	2.40	41	46.8	55	53.7	66	3.02		
	7-9	"	108	47.4	165	85.7	70	1.38	41	30.5	62	54.4	44	2.28		
	10-12	"	134	61.1	111	57.5	92	2.00	91	85.5	71	65.7	64	2.85		
	年計		533	61.3	595	72.6			245	53.3	264	59.3				
22年 (2010)	1-3	実績	182	91.9	161	89.2	114	2.52	76	105.0	95	125.7	44	1.58		
	4-6	"	229	245.7	196	141.1	147	2.48	59	142.4	66	120.9	36	1.35		
	7-9	"	145	134.7	172	104.2	121	1.97	94	230.4	87	139.6	44	1.71		
	10-12	"	166	123.9	214	191.5	73	1.13	84	93.1	72	100.2	56	2.13		
	年計		722	135.5	742	124.6			313	127.8	320	121.1				
23年 (2011)	1-3	実績	197	108.2	173	107.9	97	1.50	99	130.4	113	118.5	42	1.36		
	4-6	"	174	75.8	173	88.3	98	1.69	107	181.9	92	138.1	57	1.67		
	7-9	"	177	121.7	176	102.4	98	1.69	92	98.2	90	103.2	60	1.98		
	10-12	"	159	96.2	184	86.1	74	1.23	100	118.4	99	138.2	61	1.93		
	年計		707	97.9	706	95.2			398	127.1	393	122.8				
24年 (2012)	1-3	実績	202	102.5	208	120.1	68	1.04	82	82.6	89	78.5	54	1.71		
	4-6	"	204	117.3	174	100.6	98	1.53	67	62.7	79	86.1	42	1.49		
	7-9	"	135	76.2	151	85.8	81	1.50	85	92.1	84	93.5	43	1.58		
	10-12	"	183	114.7	152	82.5	112	2.23	72	72.4	75	76.2	40	1.50		
	年計		723	102.3	685	97.0			306	76.9	327	83.1				
25年 (2013)	1-3	実績	177	87.3	161	77.4	128	2.46	63	77.3	67	75.5	36	1.51		
	4-6	"	158	77.4	172	99.1	113	2.04	71	106.3	69	87.5	38	1.68		
	7-9	"	130	96.7	157	104.0	86	1.58	83	97.9	84	99.9	38	1.48		
	10-12	"	125	68.6	177	116.9	35	0.62	77	106.3	67	89.5	47	1.87		
	年計		590	81.6	668	97.5			295	96.3	287	87.9				
26年 (2014)	1-3	実績	199	112.5	169	105.2	64	1.11	71	112.3	88	130.9	30	1.17		
	前回		120	76.1	110	63.8	74	1.59	89	124.9	70	101.4	49	1.88		
	実績	120	76.0	156	90.3	28	0.52	83	116.1	86	124.4	27	0.94			
	前回		135	103.7	110	70.0	99	2.70	99	118.8	80	95.5	68	2.73		
	見込み(案)	135	103.7	100	63.6	63	1.48	94	112.8	80	95.5	41	1.49			
27年 (2015)	1-3	実績	135	107.7	120	67.7	114	2.97	84	109.4	85	126.0	67	2.45		
	前回		130	103.7	120	67.7	73	1.99	79	102.8	85	126.0	35	1.28		
	見通し(案)	589	99.8	509	76.3			343	116.4	323	112.3					
	前回		584	98.9	545	81.7			327	110.9	339	117.9				
	見通し(案)	150	75.5	120	70.8	103	2.58	74	104.4	85	96.9	24	0.85			

合 板

年	四半期	区 分	供 給 量						需 要 量						期 末 在 庫			
			合 計		国内合板製造量		輸入合板		合 計		国内合板出荷量		輸入合板		国内合板 (工場内在 庫)	輸入合板 (港頭在 庫)	率	
			実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比				
2 1 年 (2009)	1-3	実績	1,208	83.6	513	80.6	694	86.0	1,204	79.3	554	79.5	650	79.2	368	1,192	824	2.83
	4-6	"	1,211	76.3	549	84.7	662	70.5	1,240	77.6	561	79.2	679	76.3	357	1,164	807	2.86
	7-9	"	1,320	80.6	598	88.6	721	74.9	1,400	87.3	661	93.8	739	82.2	294	1,083	789	2.46
	10-12 年計	"	1,401	94.1	635	99.5	766	90.0	1,400	105.7	632	112.1	768	101.0	298	1,085	787	2.32
2 2 年 (2010)	1-3	実績	1,329	110.1	619	120.6	710	102.3	1,380	114.6	653	117.8	727	111.9	263	1,034	771	2.23
	4-6	"	1,527	126.0	681	124.0	846	127.8	1,500	121.0	674	120.2	826	121.6	272	1,062	790	2.21
	7-9	"	1,539	116.6	681	113.8	858	119.0	1,480	105.7	651	98.5	829	112.1	301	1,121	819	2.26
	10-12 年計	"	1,406	100.4	690	108.7	716	93.4	1,480	105.7	731	115.6	749	97.6	262	1,048	786	2.12
2 3 年 (2011)	1-3	実績	1,465	110.2	629	101.6	836	117.7	1,500	108.7	671	102.7	829	114.1	220	1,013	793	2.04
	4-6	"	1,795	117.6	640	94.0	1,155	136.6	1,770	118.0	660	97.9	1,110	134.4	200	1,038	838	1.90
	7-9	"	1,560	101.3	680	99.8	880	102.5	1,440	97.3	650	99.9	790	95.3	230	1,158	928	2.16
	10-12 年計	"	1,485	105.6	690	100.0	795	111.0	1,450	98.0	660	90.3	790	105.4	260	1,193	933	2.48
2 4 年 (2012)	1-3	実績	1,511	103.2	630	100.2	881	105.4	1,450	96.7	570	85.0	880	106.1	319,659	1,254,272	934,613	2.60
	4-6	"	1,489	82.9	630	98.5	859	74.3	1,477	83.4	627	95.0	850	76.6	322,992	1,266,074	943,082	2.60
	7-9	"	1,460	93.6	615	90.4	845	96.0	1,498	104.0	658	101.3	840	106.3	279,523	1,228,134	948,611	2.48
	10-12 年計	"	1,630	109.7	689	99.9	941	118.3	1,649	113.7	715	108.4	934	118.2	253,194	1,208,879	955,685	2.30
2 5 年 (2013)	1-3	実績	1,587	105.0	660	104.8	927	105.2	1,633	112.6	703	123.3	930	105.7	211	1,163	952	2.13
	4-6	"	1,684	113.1	704	111.7	981	114.2	1,688	114.3	703	112.1	985	115.9	212	1,159	948	2.09
	7-9	"	1,584	108.5	715	116.3	869	102.9	1,572	104.9	701	106.5	871	103.7	226	1,172	946	2.16
	10-12 年計	"	1,607	98.6	739	107.2	868	92.3	1,624	98.5	762	106.6	862	92.3	202	1,154	952	2.17
2 6 年 (2014)	1-3	実績	1,647	103.8	706	106.9	942	101.6	1,680	102.9	732	104.2	948	101.9	176	1,121	946	2.04
	前 回	前 回	1,620	96.2	710	100.9	910	92.8	1,560	92.4	680	96.8	880	89.3	206	1,181	976	2.19
	4-6	実績	1,676	99.5	738	104.9	938	95.6	1,552	91.9	618	87.9	934	94.8	296	1,245	950	2.31
	前 回	前 回	1,565	98.8	710	99.3	855	98.4	1,590	101.1	700	99.8	890	102.2	216	1,156	941	2.20
2 7 年 (2015)	7-9	見込み(案)	1,520	95.9	670	93.7	850	97.8	1,560	99.2	680	97.0	880	101.1	205	1,205	920	2.32
	前 回	前 回	1,590	99.0	720	97.4	870	100.3	1,600	98.5	710	93.1	890	103.2	226	1,146	921	2.16
	10-12 見通し(案)	見通し(案)	1,575	98.0	700	94.7	875	100.8	1,580	97.3	700	91.8	880	102.1	286	1,200	915	2.29
	前 回	前 回	6,422	99.4	2,846	101.0	3,577	98.1	6,430	98.7	2,822	98.4	3,608	98.9				
年 計	年 計	6,418	99.3	2,814	99.9	3,605	98.9	6,372	97.8	2,730	95.2	3,642	99.8					
1-3	見通し(案)	1,570	95.3	700	99.2	870	92.4	1,570	93.4	690	94.2	880	92.8	296	1,200	905	2.29	

注1 国内合板の供給量及び必要量の平成26年4-6月期までの実績(但し、平成23年及び平成24年1-3月期の実績は除く。)は、農林水産省「合板統計」の普通合板による実績、平成23年及び平成24年1-3月期の実績は、合板供給検討委員会の推計値である。輸入合板の供給量の実績は財務省「貿易統計」による実績、輸入合板の必要量の実績は合板供給検討委員会による推計値である。

2 期末在庫については、従前、「当期末在庫＝前期末在庫＋当期供給量－当期需要量」として算出してきたが、①国内合板については平成20年7-9月期以降の実績数値として農林水産省「合板統計」の普通合板の在庫量(なお、平成23年以降の国内合板期末在庫については、合板供給検討委員会の推計値を用いて計算しているため、前述の計算式を用いて算定することとした)を、②輸入合板については平成20年10-12月期以降の実績数値として合板供給検討委員会による推計値をそれぞれ用い、以後の見込み及び見直し数値については、実績数値から前述の計算式を用いて算定することとした。

3 国内合板の年計は、農林水産省「合板統計」(月別数値)の集計であるため、農林水産省「木材需給報告書」及び「木材統計」の年計とは一致しない。

構造用集成材

年	四半期	区分	供給量					
			合計		国内集成材製造量		輸入集成材	
			前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数
21年 (2009)	1-3	実績	386	112.4	277	101.7	110	152.7
	4-6	"	384	97.7	275	96.0	110	102.2
	7-9	"	393	99.3	275	96.0	118	107.8
	10-12	"	392	99.1	273	97.4	119	103.2
	年計		1,555	101.8	1,099	97.8	457	113.0
22年 (2010)	1-3	実績	390	101.0	291	105.0	100	91.1
	4-6	"	467	121.6	322	117.1	145	132.7
	7-9	"	517	131.6	348	126.5	169	143.5
	10-12	"	492	125.5	342	125.6	150	125.5
	年計		1,867	120.0	1,302	118.5	564	123.6
23年 (2011)	1-3	実績	476	122.1	328	112.8	149	148.9
	4-6	"	498	106.6	312	97.1	186	127.9
	7-9	"	507	98.1	333	95.8	174	102.8
	10-12	"	495	100.6	333	97.3	162	108.3
	年計		1,977	105.9	1,306	100.3	671	118.9
24年 (2012)	1-3	実績	491	103.1	320	97.5	171	115.3
	4-6	"	507	101.8	336	107.5	171	92.2
	7-9	"	519	102.3	346	104.0	173	99.2
	10-12	"	531	107.3	373	112.0	158	97.7
	年計		2,048	103.6	1,374	105.2	674	100.5
25年 (2013)	1-3	実績	502	102.2	336	105.2	166	96.7
	4-6	"	594	117.1	387	115.4	207	120.5
	7-9	"	584	112.5	377	108.9	207	119.8
	10-12	"	574	108.0	392	105.2	182	114.6
	年計		2,254	110.0	1,493	108.6	761	112.9
26年 (2014)	1-3	実績	560	111.5	375	111.5	185	111.6
	前回		570	96.0	350	90.4	220	106.5
	実績		561	94.5	350	90.4	211	102.3
	前回		540	92.5	350	92.8	190	91.8
	7-9	見通し(案)	535	91.6	330	87.5	205	99.1
	10-12	見通し(案)	580	101.1	360	91.7	220	121.2
	前回		520	90.6	330	84.1	190	104.7
	実績		2,250	99.8	1,435	96.1	815	107.1
	年計		2,176	96.6	1,385	92.8	791	104.0
27年 (2015)	1-3	見通し(案)	550	98.2	330	88.0	220	119.0

- 注1 輸入構造用集成材の実績数値は、財務省「貿易統計」による。  
 注2 国内構造用集成材の実績の年計は日本集成材工業協同組合調べによる。  
 注3 国内構造用集成材の四半期の実績数値は、年間実績等からの推計値である。

## 製材品生産

年	四半期	区分	製材用素材供給量(工場入荷量)										製材品生産量	
			小計		国産材		外材		国産材率		実数	前年比		
			実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比				
千m <sup>3</sup>	%	千m <sup>3</sup>	%	千m <sup>3</sup>	%	千m <sup>3</sup>	%	千m <sup>3</sup>	%					
21年 (2009)	月	実績	3,980	88.3	2,855	95.8	1,125	73.8	1,125	73.8	2,346	86.3		
	1-3		3,893	87.7	2,623	89.4	1,270	84.3	1,270	84.3	2,391	84.3		
	4-6		3,558	83.1	2,397	90.2	1,161	71.5	1,161	71.5	2,323	83.0		
	7-9		3,925	87.2	2,724	90.5	1,201	80.5	1,201	80.5	2,343	85.3		
	10-12		15,356	86.6	10,599	91.5	4,757	77.4	4,757	77.4	9,403	84.7		
22年 (2010)	年計		3,782	95.0	2,595	90.9	1,187	105.5	1,187	105.5	2,227	94.9		
	1-3	実績	3,980	102.2	2,689	102.5	1,291	101.7	1,291	101.7	2,357	98.6		
	4-6		3,937	110.7	2,625	109.5	1,312	113.0	1,312	113.0	2,392	103.0		
	7-9		4,248	108.2	3,008	110.4	1,240	103.2	1,240	103.2	2,460	105.0		
	10-12		15,947	103.8	10,917	103.0	5,030	105.7	5,030	105.7	9,436	100.4		
23年 (2011)	年計		3,690	97.6	2,622	101.0	1,068	90.0	1,068	90.0	2,139	96.0		
	1-3	実績	3,877	97.4	2,618	97.4	1,259	97.5	1,259	97.5	2,262	96.0		
	4-6		3,791	96.3	2,620	99.8	1,171	89.3	1,171	89.3	2,355	98.5		
	7-9		4,247	100.0	2,982	99.1	1,265	102.0	1,265	102.0	2,427	98.7		
	10-12		15,605	97.9	10,842	99.3	4,763	94.7	4,763	94.7	9,183	97.3		
24年 (2012)	年計		4,052	109.8	2,876	109.7	1,176	110.1	1,176	110.1	2,250	105.2		
	1-3	実績	3,995	103.0	2,748	105.0	1,247	99.0	1,247	99.0	2,376	105.0		
	4-6		3,639	96.0	2,483	94.8	1,156	98.7	1,156	98.7	2,300	97.7		
	7-9		4,212	99.2	2,962	99.3	1,250	98.8	1,250	98.8	2,412	99.4		
	10-12		15,898	101.9	11,069	102.1	4,829	101.4	4,829	101.4	9,338	101.7		
25年 (2013)	年計		4,101	101.2	2,901	100.9	1,200	102.0	1,200	102.0	2,322	103.2		
	1-3	実績	4,433	111.0	3,044	110.8	1,389	111.4	1,389	111.4	2,564	107.9		
	4-6		4,010	110.2	2,829	113.9	1,181	102.2	1,181	102.2	2,485	108.0		
	7-9		4,529	107.5	3,183	107.5	1,346	107.7	1,346	107.7	2,617	108.5		
	10-12		17,073	107.4	11,957	108.0	5,116	105.9	5,116	105.9	9,988	107.0		
26年 (2014)	年計		4,346	106.0	3,151	108.6	1,195	99.6	1,195	99.6	2,443	105.2		
	1-3	実績	4,155	93.7	3,136	103.0	1,019	73.4	1,019	73.4	2,435	95.0		

注 農林水産省「製材統計」による。



(参考)

## 合 板 生 産

年	四半期	区 分	単板製造用素材供給量 (工場入荷量)						合板用単板輸入量				国内合板生産量 (普通合板)	
			小計		国産材		外材		国産材率		実数	前年比	実数	前年比
			実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	千㎡	%				
	月 月		千㎡	%	千㎡	%	千㎡	%			千㎡	%		%
21年 (2009)	1-3	実績	721	76.2	424	77.8	296	74.0	58.9	5	64.7	513	80.6	
	4-6	"	644	54.4	435	69.9	209	37.2	67.6	11	148.9	549	84.7	
	7-9	"	804	81.7	539	110.5	264	53.4	67.1	17	297.1	598	88.6	
	10-12	"	939	107.5	581	120.7	358	91.4	61.8	24	305.3	635	99.5	
	年計		3,107	77.9	1,979	92.6	1,128	61.0	63.7	57	197.9	2,296	88.3	
22年 (2010)	1-3	実績	864	119.9	558	131.5	306	103.2	64.6	38	730.0	619	120.6	
	4-6	"	960	149.2	618	142.0	343	164.3	64.3	37	342.6	681	124.0	
	7-9	"	1,005	125.0	644	119.4	361	136.4	64.1	34	192.8	681	113.8	
	10-12	"	982	104.6	670	115.5	312	86.9	68.3	41	172.9	690	108.7	
	年計		3,811	122.7	2,490	125.8	1,321	117.1	65.3	150	261.3	2,672	116.4	
23年 (2011)	1-3	実績	812	94.0	579	103.7	234	76.4	71.2	39	103.4	539	87.1	
	4-6	"	1,080	112.5	677	109.7	403	117.6	62.7	38	104.0	583	85.6	
	7-9	"	899	89.5	575	89.3	324	89.7	64.0	40	117.5	578	84.9	
	10-12	"	1,066	108.6	693	103.3	374	119.9	65.0	36	87.7	641	92.9	
	年計		3,858	101.2	2,524	101.4	1,334	101.0	65.4	153	102.4	2,342	87.7	
24年 (2012)	1-3	実績	1,037	127.6	644	111.3	393	168.0	62.1	43	110.4	614	113.9	
	4-6	"	943	87.3	648	95.7	295	73.1	68.7	33	84.7	630	108.0	
	7-9	"	860	95.7	589	102.4	271	83.9	68.5	32	80.1	615	106.3	
	10-12	"	997	93.5	720	104.0	276	74.0	72.3	29	81.3	689	107.5	
	年計		3,837	99.5	2,602	103.1	1,235	92.6	67.8	137	89.3	2,549	108.8	
25年 (2013)	1-3	実績	1,028	99.2	723	112.2	306	77.8	70.3	34	77.6	660	107.5	
	4-6	"	1,093	115.9	795	122.7	298	101.0	72.8	41	125.2	704	111.7	
	7-9	"	994	115.5	744	126.3	250	92.1	74.8	47	146.5	715	116.3	
	10-12	"	1,066	107.0	754	104.7	312	112.9	70.7	53	182.0	739	107.2	
	年計		4,181	109.0	3,016	115.9	1,165	94.3	72.1	174	127.3	2,818	110.6	
26年 (2014)	1-3	実績	1,049	102.0	717	99.3	331	108.4	68.4	57	170.5	706	106.9	
	4-6	"	1,218	111.5	837	105.2	382	128.2	68.7	50	122.8	738	104.9	

注1 単板製造用素材供給量の実績は、年計は「木材需給報告書」、四半期計は、年計を農林水産省「合板統計」による四半期の割合で按分した値である。

注2 合板用単板輸入量は、財務省「貿易統計」による。但し、貿易統計の数値(単位はm2)を材積に換算している。(換算率0.00133)

注3 国内合板生産量(普通合板)は、農林水産省「合板統計」による。

平成26年度 第2回 木材需給会議 委員名簿

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 調査部 主任研究員 (一般経済)	塚田 裕 昭
独立行政法人住宅金融支援機構 調査部 主席研究員 (住宅)	横谷 好
住友林業株式会社 住宅事業本部 技術部 技師長 (住宅)	逢坂 達 男
日本木材青壮年団体連合会 会長 (木材全般)	川西 雅 也
日本製紙連合会 原材料部 調査役 (紙・パルプ)	前田 直 史
一般社団法人日本木材輸出振興協会 事務局長 (輸出)	大迫 敏 彦
一般社団法人全国木材組合連合会 常務理事 (国産材)	森田 一 行
全国森林組合連合会 系統事業部長 (国産材)	富山 洋
日本米材協議会 会長 (米材)	江間 亮 三
日本米材協議会 副会長 (米材)	榎戸 正 人
日本集成材工業協同組合 理事 (集成材)	中島 浩一郎
日本北洋材協議会 会長 (北洋材)	通善 一 洋
日本木材輸入協会 針葉樹部会長 (米材、欧州材、北洋材、集成材)	武田 晴 之
日本合板工業組合連合会 専務理事 (合板、南洋材)	川喜多 進
日本南洋材協議会 理事 (南洋材)	市川 英 治
日本合板商業組合 専務理事 (合板)	初 好 章
日本ニュージーランド・チリ松材協議会 会長 (ニュージーランド・チリ材)	立川 浩 司
日本木材輸入協会 南洋材・合板部会長 (南洋材、合板、ニュージーランド・チリ材)	関本 暁

平成 25 年 集 成 材 の 国 内 生 産 量 調 査

平成 26 年 3 月 14 日

日本集成材工業協同組合

1. 国内生産量の推移

(単位:数量=千m<sup>3</sup>、前年比=%)

年度	種類	造作用集成材						構造用集成材						合 計		前年比			
		無 垢		化粧ばり		計		大断面		中断面		小断面					計		
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比		
平成16年		86.0	94	125.5	100	211.5	98	36.2	97	51.5	95	581.6	111	606.8	106	1,276.1	107	1,487.6	106
17年		83.4	97	118.8	95	202.2	96	28.4	78	40.7	79	594.4	102	636.2	106	1,309.7	103	1,511.9	102
18年		75.1	90	110.5	93	185.6	92	22.7	80	30.1	74	790.6	133	646.2	100	1,489.6	114	1,675.2	111
19年		74.3	99	100.1	91	174.4	94	14.4	63	19.3	64	619.0	78	519.4	80	1,172.1	79	1,346.5	80
20年		76.4	103	92.5	92	168.9	97	8.6	60	16.6	86	559.6	90	539.1	104	1,123.9	96	1,292.8	96
21年		71.0	93	79.6	86	150.6	89	6.0	70	21.5	130	576.0	103	495.2	92	1,098.7	98	1,249.3	97
22年		75.8	107	76.6	96	152.4	101	7.3	122	26.2	122	692.3	120	576.4	116	1,302.2	119	1,454.6	116
23年		78.5	103	70.8	92	149.3	98	5.1	70	27.1	103	688.8	99	585.0	101	1,306.0	100	1,455.3	100
24年		77.9	99	71.7	101	149.6	100	5.8	114	28.9	107	718.4	104	621.3	106	1,374.4	105	1,524.0	105
25年		81.8	105	71.5	100	153.3	102	5.9	101	33.2	115	783.1	109	671.0	108	1,493.2	108	1,646.5	108

※四捨五入の関係で、合計に一致しないことがあります。

2. 集成材の輸入実績

(単位:m<sup>3</sup>)

年度	種類	平成16年		17年		18年		19年		20年		21年		22年		23年		24年		25年	
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
	集成材	157,883	101	153,331	97	158,505	103	135,654	86	88,125	65	76,581	87	91,673	120	110,726	121	86,777	78	82,514	95
	グルーラム	610,897	113	670,480	110	805,624	120	642,327	80	404,104	63	456,576	113	564,376	124	670,946	119	674,063	103	760,808	113
	計	768,780	110	823,811	107	964,129	117	777,981	81	492,229	63	533,157	108	656,049	123	781,672	119	760,840	97	843,322	111

(資料:財務省関税局「日本貿易統計」)

3. 平成25年 構造用集成材の大・中・小断面別輸入実績

(単位: m<sup>3</sup>)

種類	国		フィンランド		ルーマニア		エストニア		スウェーデン		ドイツ		中国		ロシア		アメリカ		その他		計
	オーストリア			266			257		211												
大断面																	1,704				2,438
中断面	50,441		123,096		3,465		49,793		28,873		19,158		14,075		107		2,043		818		291,869
小断面	155,694		75,277		116,007		5,637		15,697		5,184		52,646		39,733		77		549		466,501
計	206,135		198,639		119,472		55,687		44,781		24,342		66,721		39,840		3,824		1,367		760,808

(資料: 財務省関税局「日本貿易統計」)

4. 平成25年 原材料の樹種別使用比率

(単位: %)

国産材	北米材		北洋材		欧州材		その他		合計						
	針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹							
22.8	0.1	22.9	7.8	0.1	7.9	0.1	0.1	0.2	67.7	0.1	67.8	0.6	0.6	1.2	100

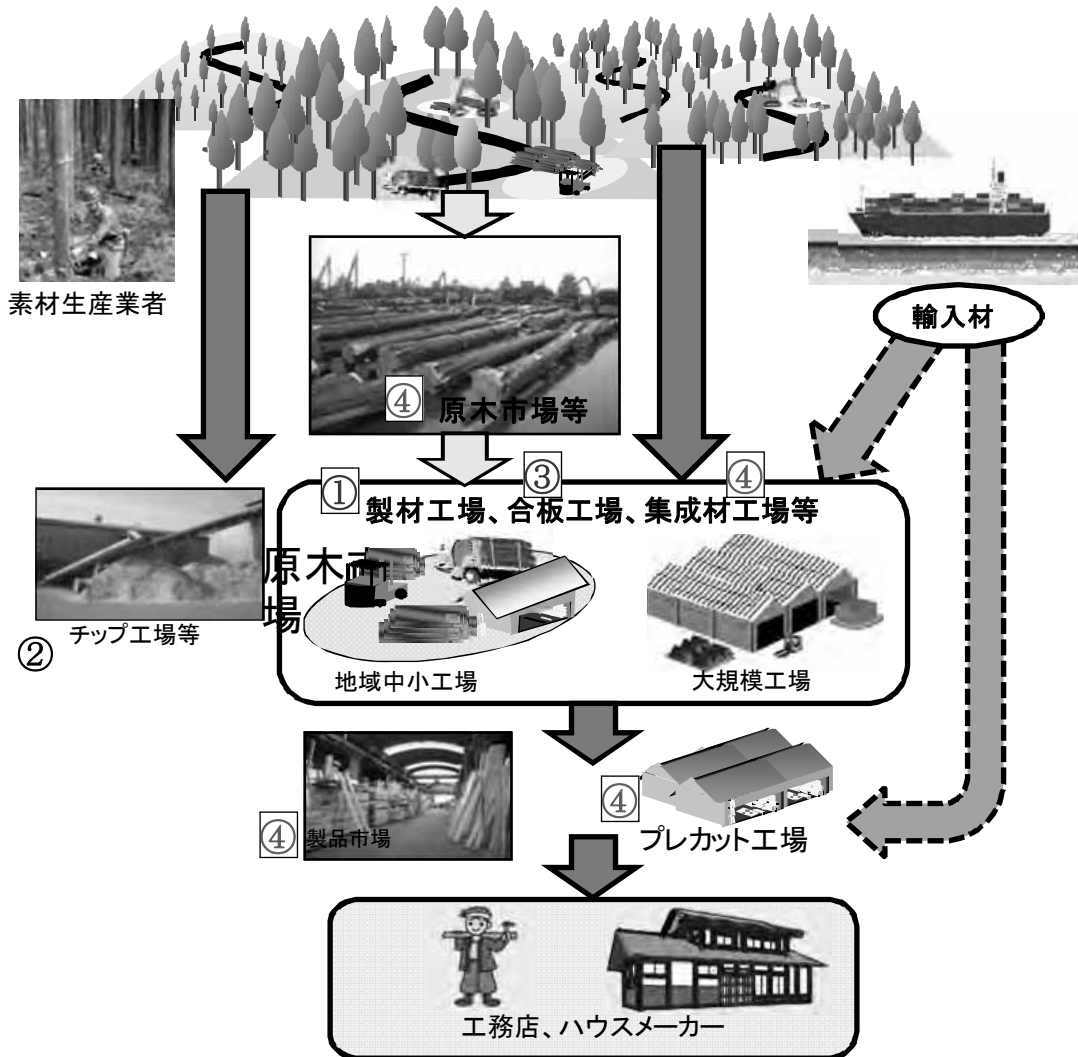
5. 製造業の地域分布

地域	東北		関東				北陸・甲信越				東海				近畿				中国				四国				九州・沖縄				合計																
	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	新潟県	富山県	石川県	福井県	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県		島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	高知県	愛媛県	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	熊本県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
組合員	3	0	5	8	0	0	4	1	5	1	1	3	3	0	0	1	2	2	1	1	1	1	2	0	1	2	13	2	0	0	2	1	0	1	1	2	4	3	0	0	1	1	1	0	94		
組合員外	7	2	2	2	1	1	0	0	2	0	0	1	0	0	2	1	2	1	0	2	0	2	6	1	1	2	4	2	3	1	0	3	4	1	1	0	2	2	2	0	0	3	0	5	1	0	72
合計	10	2	7	10	1	1	4	1	7	1	1	4	3	0	2	2	4	3	2	3	1	13	8	3	1	3	5	4	16	3	0	5	5	1	2	1	4	6	5	0	3	1	6	2	0	166	

(従業員数=6,626人)

※JAS認定企業数: (財) 日本合板検査会名簿より作成。(平成26年3月現在)

## ■ 木材の加工・流通の構造（イメージ）



※山から生産される丸太のことを「原木」または「素材」という。

出典：林野庁「森林・林業・木材産業の現状と課題」

**木材統計調査（基幹統計）**における調査対象は、以下のとおり。

### 1 基礎調査（年次調査）

製材用動力の出力数が7.5kW以上の製材工場（図中の①。以下「製材工場」という。）、木材チップ工場（図中の②）及び単板又は合板を生産している事業所（図中の③。以下「合単板工場」という。）

### 2 製材月別調査（毎月調査）

製材工場（図中の①）

### 3 合単板月別調査（毎月調査）

合単板工場（図中の③）

※ 木材流通統計調査（一般統計）における調査対象は、図中の④。

## 未諮問基幹統計(木材統計)についての委員の御質問・御意見等について

平成27年2月19日  
第57回基本計画部会資料

通し番号	基本計画部会で確認したい事項	確認したい事項とお考えの理由
1	木材加工・流通の産業構造の現状	基礎資料の参考資料として「木材の加工・流通の構造(イメージ)」が添付されていますが、産業構造と統計調査の体系について、詳しく聞きたい。
2	平成17年の統計審議会答申で「今後の課題」として指摘された木材統計調査での集成材の把握に関するその後の検討状況	平成17年の統計審議会からの答申で指摘された今後の課題で「木材流通構造調査(一般統計調査)で把握されている集成材については、今後の生産量等を勘案し、木材統計調査の一環として把握することを検討する必要がある。」とされており、基礎資料にも対応の概況について記載されておりますが、集成材の生産量等の状況を含めた検討状況の説明を聞きたい。
3	基礎調査の調査対象とする製材工場の製材用動力の出力数の下限規模(現行75.0キロワット)の見直しの余地	平成17年の統計審議会での諮問・答申の際の審議状況をみると、調査範囲について、製材統計調査の基礎調査は、それまで、製材に用いる動力の出力数が37.5キロワット以上の製材工場は全てを対象に、37.5キロワット未満を標本(1/3抽出)により調査を実施してきたものを、小規模製材工場の廃業等業界の構造変化を踏まえ、この下限規模を37.5キロワットから75.0キロワットに引き上げているが、下限規模の変更から約10年を経ており、製材業界の構造変化がさらに進んでいることも考えられるため、下限規模について見直しの余地はないのか、また、動力出力数以外に工場規模を判断する適切な材料がないのか説明して欲しい。
4	オンライン回答を推進するための改善方策の検討状況	基礎資料を拝見すると、今後のオンライン回答を推進するための改善方策を検討しているとのことですが、その改善方策を説明してほしい。

## 未諮問基幹統計（木材統計）に係る確認事項等

### 1 産業構造と統計調査の体系について

- ・ 木材の加工・流通構造と統計調査の整備状況について

### 2 調査の設計について

- ・ 平成 17 年の統計審議会答申で「今後の課題」として指摘された木材統計調査での集成材の把握に関するその後の検討状況について
- ・ 基礎調査の調査対象とする製材工場の製材用動力の出力数の下限規模（現行 75.0 キロワット）の見直しの余地について

### 3 作成方法の効率化等について

- ・ オンライン回答を推進するための改善方策の検討状況について

# 木材統計調査について

## 統計委員会基本計画部会資料

平成27年2月19日

農林水産省

### 目次

- 1 木材の需給構造及び調査体系
  - (1) 木材の需給構造
  - (2) 調査体系
  - (3) 調査対象
  - (4) 調査結果の利活用事例
  - (5) 調査の沿革
- 2 木材の加工・流通の構造
- 3 集成材の生産量
- 4 調査対象工場の規模等について
- 5 オンライン調査
  - (参考1) 標本の抽出
  - (参考2) 集成材

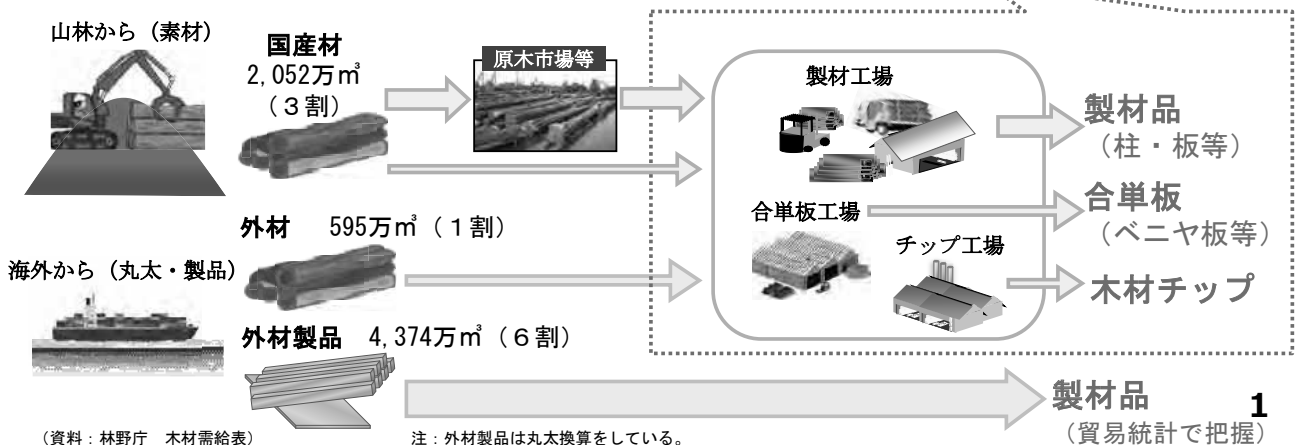


# 1 木材の需給構造及び調査体系

## (1) 木材の需給構造

- ・我が国の森林面積は2,500万ha（国土の3分の2）、森林資源の蓄積量は毎年約1億m<sup>3</sup>増加し、現在49億m<sup>3</sup>。
- ・木材需要量のうち、製材用が39%、合板用が15%、パルプ・チップ用が41%。
- ・伐採・搬出された木材は、原木市場等を経て6割は製材工場、1割は合板工場、3割がチップ工場に供給され製品に加工。

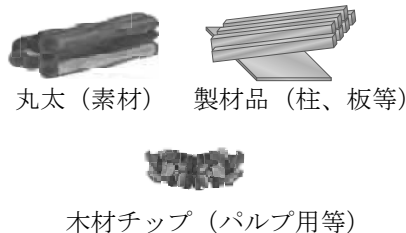
木材統計の調査対象（素材別入荷量、製品別生産量、製品別出荷量、製品別在庫量）



## (2) 調査体系

### <基幹統計調査>

#### 木材統計調査



#### 基礎調査（年次調査）

- ・製材工場等に入荷した丸太の樹種、入荷都道府県を調査
- ・木材製品（製材品、合板、木材チップ等）の生産量等を調査

#### 月別調査

#### 製材月別調査

- ・製材品の生産量、出荷量、在庫量等を調査

#### 合単板月別調査

- ・合板の生産量、出荷量、在庫量等を調査

### <一般統計調査>

#### 木材流通統計調査

#### 木材価格統計調査（月別調査）

#### 素材・木材チップ価格調査

丸太の購入価格、木材チップの工場渡し価格

#### 木材製品卸売価格調査

木材製品の販売価格

#### 木材流通構造調査（5年周期）

- ・丸太及び木材製品の入荷先別入荷量、出荷先別出荷量等を把握し、木材の流通ルートを把握する。

2

### (3) 調査対象

調査	木材統計調査（基幹統計調査）			木材流通統計調査（一般統計調査）		
	基礎調査 （年次調査）	月別調査（毎月調査）		木材価格統計調査（毎月調査）		木材流通 構造調査 （5年周期）
		製材 月別調査	合単板 月別調査	素材・木材 チップ価格調査	木材製品 卸売価格調査	
目的	素材生産並びに木材製品の生産及び出荷等に関する実態を明らかにし、林業行政の基礎資料を整備すること			木材の価格水準及びその変動並びに木材の流通構造を的確に把握し、木材の需給及び価格の安定等流通改善対策、木材産業の合理化対策、木材流通構造改善施策等の推進に資すること		
標本 規模	平成25年	平成26年12月現在		平成26年12月現在		平成23年
	製材工場 3,394工場	製材工場 1,172工場	合単板工場 75工場	製材工場、 合単板工場、 木材チップ工場 295工場	流通業者 64業者	製材工場、 合単板工場、 木材チップ工場等 1,606工場
	合単板工場 145工場					流通業者 1,495業者
木材チップ工場 977工場						
調査 方法	オンライン、 郵送又は調査員	オンライン 又は郵送		オンライン、郵送又はFAX （市場化テストで実施）		郵送又は 調査員

3

### (4) 調査結果の利活用事例

- ① 「森林・林業基本計画」（平成23年7月26日閣議決定）  
における「木材総需要量の見通しと国産材利用の目標」につ  
いて、林産物の供給及び利用の目標設定
- ② 「木材需給表」（林野庁）の作成に係る資料
- ③ 林野庁による木材需給会議における「主要木材の需給見通  
し」の作成
- ④ 国民経済計算における四半期別GDP速報（QE）の供給  
側推計の「林業」及び「製材・木製品」の推計、並びに年次  
推計の財貨・サービスの供給及び需要の農水産物（林産物）  
の産出額の推計
- ⑤ 産業連関表の内生部門における林業部門等の推計
- ⑥ 鋳工業指数の生産・出荷・在庫指数の算出

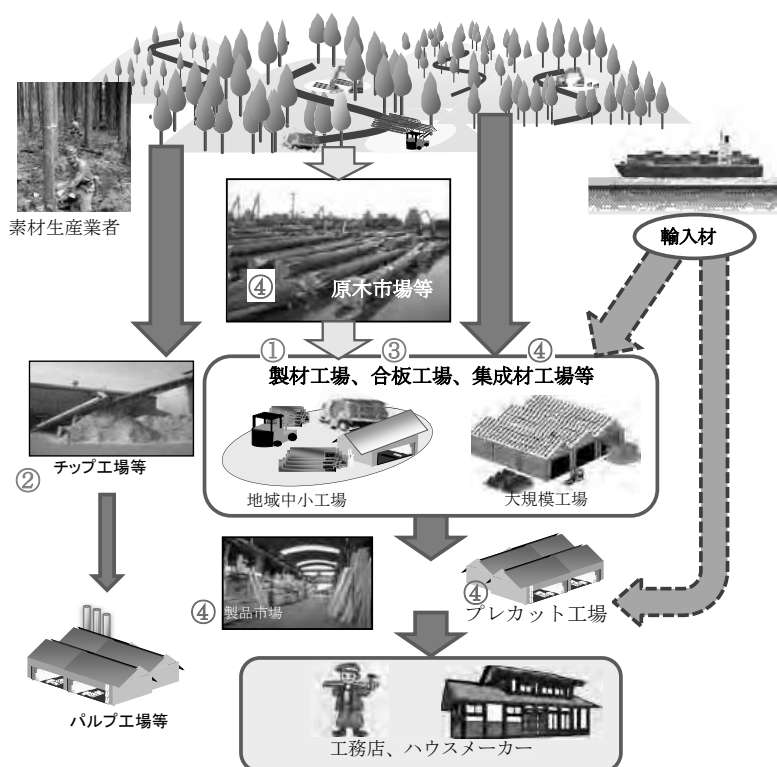
4

## (5) 調査の沿革

昭和28年（1953年）	「製材統計調査（指定統計調査）」として調査実施
29年（1954年）	製材以外を「木材統計調査（承認統計調査）」として開始
平成12年（2000年）	「製材統計調査」の基礎調査を調査員調査化及び標本工場調査を郵送調査化
13年（2001年）	製材統計調査基礎調査を標本調査化
17年（2005年）	○調査体系の整理
[統計審議会]	○調査範囲、調査方法の変更
	○調査項目の追加・削除
	追加：従業者数の男女別 等
	削除：製材品の出荷先出荷量を都道府県別から自 県・他県に縮減
	木材チップの出荷先（都道府県）別出荷量 の削除 等
	○用語の統一
	○公表日の早期化
19年（2007年）	オンライン調査を導入

5

## 2 木材の加工・流通の構造



### <調査対象>

#### 1 基礎調査（年次調査）

製材用動力の出力数が7.5kW以上の製材工場（図中の①。以下「製材工場」という。）、木材チップ工場（図中の②）及び単板又は合板を生産している事業所（図中の③。以下「合単板工場」という。）

#### 2 製材月別調査（毎月調査）

製材工場（図中の①）

#### 3 合単板月別調査（毎月調査）

合単板工場（図中の③）

※ 木材価格統計調査及び木材流通構造統計調査（いずれも一般統計）における調査対象は、図中の①～④。

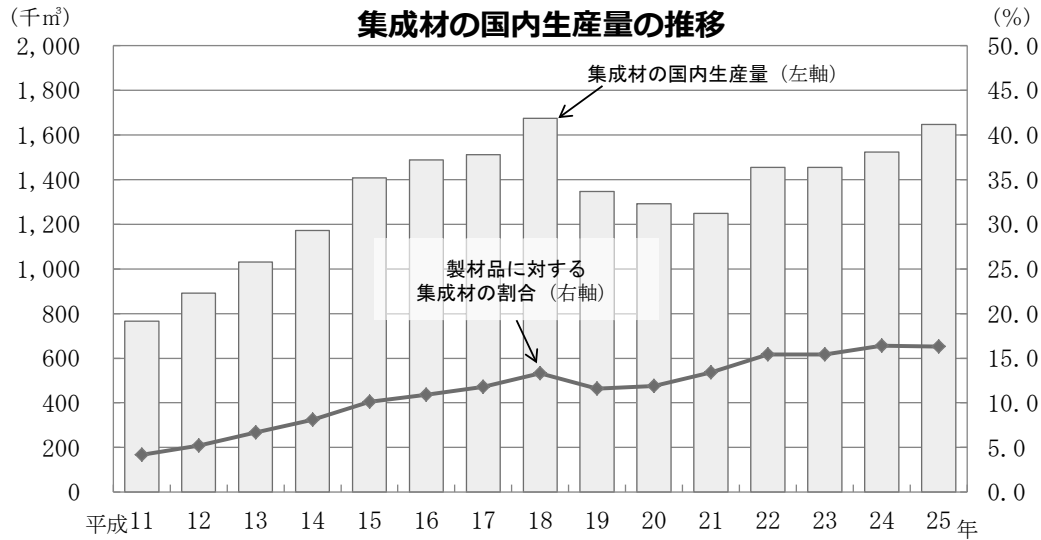
※山から生産される丸太のことを「原木」または「素材」という。

（資料：林野庁 森林・林業・木材産業の現状と課題）

6

# 3 集成材の生産量

- 集成材注の出荷量等については、木材流通構造統計調査（周期年調査）で把握
- 集成材の国内生産量は、集成材工場の業界団体において毎年把握
- 集成材の国内生産量は、平成18年までは増加傾向で推移したが、その後大きく減少し、近年は微増傾向



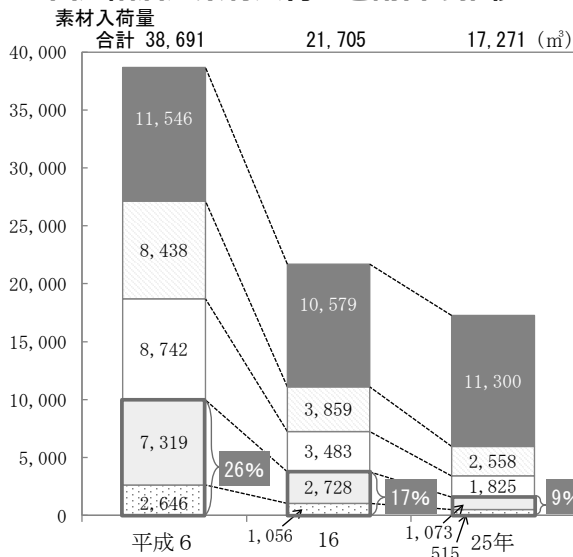
(資料：日本集成材工業協同組合、木材需給報告書)

注：「集成材」とは、ひき板等を繊維方向に平行に集成接着した木材で、寸法安定性に優れている。7  
詳細は11ページ（参考2）を参照。

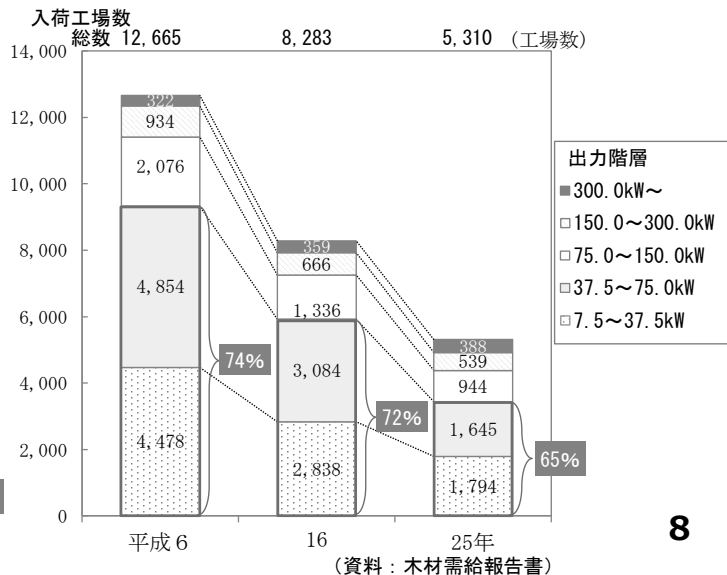
# 4 調査対象工場の規模等について

- 製材用動力の出力数75.0kW未満の工場における素材入荷量の割合は、9%に低下
  - 一方、国産材を入荷している製材用動力の出力数75.0kW未満の工場数の割合は、65%を占める。
- ⇒仮に、下限規模を75.0kWから150.0kWへ引き上げると、国産材の入荷工場のうち8割以上が標本階層となり、国産材の把握に影響が出る恐れ

**出力階層別素材入荷量と割合の推移**



**出力階層別国産材の入荷工場数と割合の推移**



# 5 オンライン調査

## (1) オンライン回収率

調査名・調査対象		オンライン回収率	オンライン回答が進まない理由
基礎調査	(調査対象)	製材工場	1.6%
		木材チップ工場	3.4%
		合単板工場	3.6%
月別調査	製材月別調査	5.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象は小規模な工場が多く（製材工場：従業者数4人以下の工場が約7割）、パソコンやインターネット環境が整っていない。</li> <li>会社内のネットワークがインターネットに接続できない。</li> <li>操作ができる者がいない。</li> <li>設定や操作が複雑で時間がかかる。</li> <li>パスワード（確認コード8文字以上）の設定処理が面倒。</li> </ul> など・・・
	合単板月別調査	12.0%	

## (2) オンライン回答率拡大に向けた検討内容

- ・ 現在は、オンライン回答を希望する工場のみでIDを発行しているが、今後は全ての調査対象工場にIDを発行し、オンライン回答を積極的に勧める。
- ・ 調査員に対して、パソコンの設定・操作方法の指導を徹底する。
- ・ 調査対象に対して、オンラインシステムの安全性を説明する。

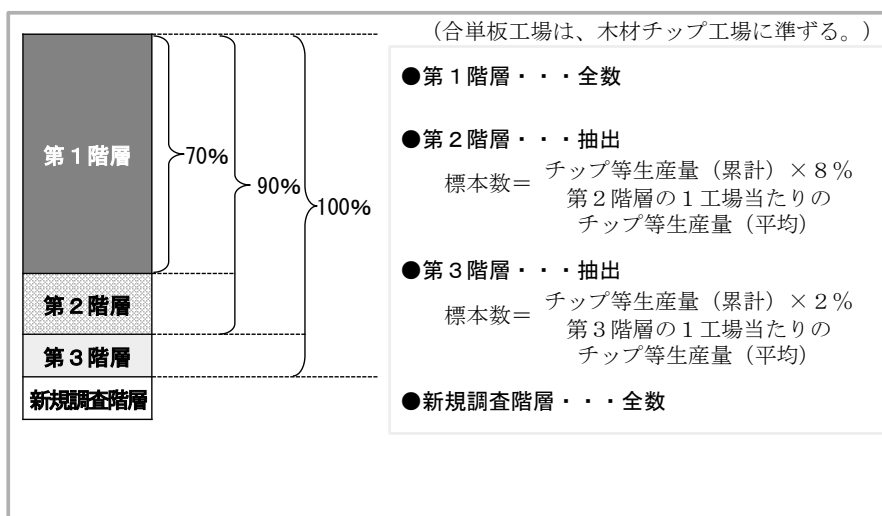
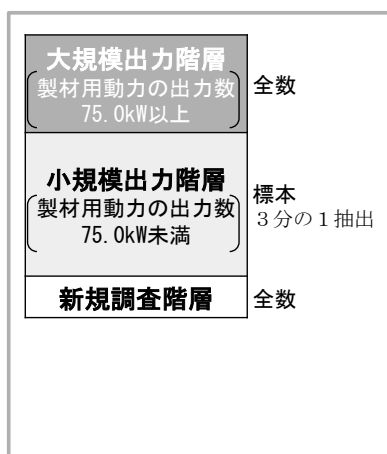
9

## (参考1) 標本の抽出

### <基礎調査>

・ 製材工場

・ 木材チップ工場・合単板工場



### <月別調査>

・ 製材月別調査

都道府県別に素材消費量で目標精度10%を達するように標本数を抽出

・ 合単板月別調査

都道府県別に素材入荷量又は合板生産量の多い順に並べ、85%を上回るまでの工場を抽出

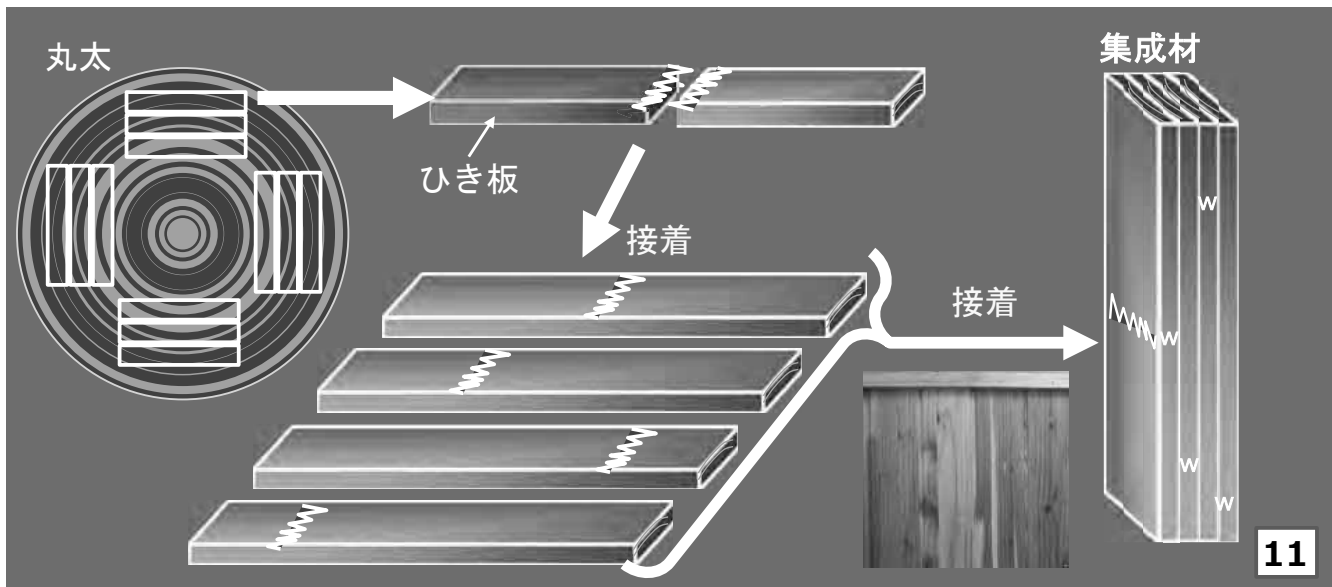
10

## (参考2) 集成材とは

日本農林規格（JAS）における「集成材」の定義

⇒ ひき板、小角材等とその繊維方向を互いにほぼ平行にして、厚さ、幅及び長さの方向に集成接着をした一般材

構造物の内部造作（階段材、壁面材等）や構造用集成材（木造住宅の柱、梁、桁等や大型木造施設）として用いられている。



11

(資料 25)

統計委員会委員名簿（基本計画部会委員名簿）

(50 音順・敬称略・◎委員長（部会長）)

川崎	茂	日本大学経済学部教授
北村	行伸	一橋大学経済研究所教授
黒澤	昌子	政策研究大学院大学教授
西郷	浩	早稲田大学政治経済学術院教授
白波瀬	佐和子	東京大学大学院人文社会系研究科教授
津谷	典子	慶應義塾大学経済学部教授
中村	洋一	法政大学理工学部教授
中山	弘子	前新宿区長
◎ 西村	清彦	東京大学大学院経済学研究科教授
野呂	順一	株式会社ニッセイ基礎研究所代表取締役社長
廣松	毅	情報セキュリティ大学院大学情報セキュリティ研究科教授
前田	栄治	日本銀行調査統計局長

(注) 全ての統計委員会委員は、基本計画部会の委員を兼ねている。